DENON
PROFESSIONAL

ソリッドステート /USB レコーダー

DN-F650R

取扱説明書

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに「保証書」と共に大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。
  詳しくは、「保証と修理について」(☞53 ページ) をご覧ください。

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

安全アースは必ず接地する

本機は安全アースを接続してご使用頂けるように設計しています。電源プラグが直接コンセントに差し込めない場合は、付属の電源プラグ（3P → 2P）を使用してコンセントに差し込んでください。その場合は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは

電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

火気禁止

火や炎を近づけない

本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水滴や水しぶきのかかるところに置かない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災、感電の原因になります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら

機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

付属の電源コードを使用する

注意

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。

電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けない

禁止

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは

禁止

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

アース線を取り外すときは

必ず実施

必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態でおこなってください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるように設置する

電源プラグをコンセントから抜く

電源のスイッチを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。
万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。

機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう

必ず実施

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする

必ず実施

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使用しない

禁止

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

次のような場所には置かない

禁止

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

壁や他の機器から少し離して設置する

必ず実施

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

禁止

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

禁止

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない

禁止

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

移動させるときは

電源プラグをコンセントから抜く

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。移動の際は、本機に衝撃を与えないでください。

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

電源プラグをコンセントから抜く

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

5 年に一度は内部の掃除を

注意

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

著作権法の注意

本機のご使用に際しては、著作権法に抵触しないように、ご注意ください。

本機は、業務用用途の目的を対象として製造されています。
本機を使用して、音楽著作物を録音使用する場合には、各著作権者の許諾を得る必要があります。
著作権者が判明しない場合には、次に示す団体までお問い合わせください。
権利者に許諾なく音楽著作物を使用し、権利者との間でトラブルが生じたとしても、当社は責任を負いかねます。

お問い合わせ先は、日本音楽著作権協会（JASRAC）の本部、または最寄りの支部になります。

日本音楽著作権協会

本　　部	〒151-8540　東京都渋谷区上原3-6-12 TEL 03-3481-2121（大代表）
北海道支部	（業務地域　北海道） 〒060-0001　北海道札幌市中央区北一条西3-2 井門札幌ビル7階 TEL 011-221-5088（代表）　FAX 011-221-1311
仙台支部	（業務地域　宮城・青森・岩手・秋田・山形・福島） 〒980-0014　宮城県仙台市青葉区本町2-3-10 仙台本町ビル10F TEL 022-264-2266（代表）　FAX 022-265-2706
大宮支部	（業務地域　埼玉・栃木・群馬・長野・新潟） 〒330-0802　埼玉県さいたま市大宮区宮町2-35 大宮MTビル9F TEL 048-643-5461（代表）　FAX 048-643-3567
東京支部	（業務地域　中央・千代田・港・文京・台東・墨田・江東・品川・大田・北・荒川・足立・葛飾・江戸川各区・島しょ部・茨城・千葉） 〒104-0061　東京都中央区銀座1-3-9　マルイト銀座ビル7階 TEL 03-3562-4455（代表）　FAX 03-3562-4457
西東京支部	（業務地域　新宿・目黒・世田谷・渋谷・中野・杉並・豊島・板橋・練馬各区・東京都市部・郡部（島しょ部を除く）・山梨） 〒160-0023　東京都新宿区西新宿1-17-1 日本生命新宿西口ビル10F TEL 03-5321-9530（代表）　FAX 03-3345-5750
東京イベント・コンサート（EC）支部	（業務地域　東京都・千葉・茨城・山梨のイベント・コンサート関係） 〒160-0023　東京都新宿区西新宿1-17-1 日本生命新宿西口ビル10F TEL 03-5321-9881（代表）　FAX 03-3345-5760
横浜支部	（業務地域　神奈川） 〒231-0005　神奈川県横浜市中区本町1-3　綜通横浜ビル4階 TEL 045-662-6551（代表）　FAX 045-662-6548
静岡支部	（業務地域　静岡） 〒420-0851　静岡県静岡市葵区黒金町59-6 大同生命静岡ビル5F TEL 054-254-2621（代表）　FAX 054-254-0285
中部支部	（業務地域　愛知・岐阜・三重） 〒450-0003　愛知県名古屋市中村区名駅南1-24-30 名古屋三井ビル本館13F TEL 052-583-7590（代表）　FAX 052-583-7594
北陸支部	（業務地域　石川・富山・福井） 〒920-0853　石川県金沢市本町1-5-2　リファーレ12階 TEL 076-221-3602（代表）　FAX 076-221-6109
京都支部	（業務地域　京都・滋賀・奈良） 〒604-8153　京都府京都市中京区烏丸通四条上ル笋町689 京都御幸ビル7階 TEL 075-251-0134（代表）　FAX 075-251-0414
大阪支部	（業務地域　大阪・和歌山・兵庫） 〒542-0081　大阪府大阪市中央区南船場4-3-11　豊田ビル4階 TEL 06-6244-0351（代表）　FAX 06-6244-1970
中国支部	（業務地域　広島・岡山・山口・鳥取・島根） 〒730-0021　広島県広島市中区胡町4-21 朝日生命広島胡町ビル11階 TEL 082-249-6362（代表）　FAX 082-246-4396
四国支部	（業務地域　香川・徳島・高知・愛媛） 〒760-0019　香川県高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー20F TEL 087-821-9191（代表）　FAX 087-822-5083
九州支部	（業務地域　福岡・佐賀・長崎・熊本・大分） 〒812-0011　福岡県福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル5階 TEL 092-441-2285（代表）　FAX 092-441-4218
鹿児島支部	（業務地域　鹿児島・宮崎） 〒892-0842　鹿児島県鹿児島市東千石町1-38 アイムビル8階 TEL 099-224-6211（代表）　FAX 099-224-6106
那覇支部	（業務地域　沖縄） 〒900-0029　沖縄県那覇市旭町116-37 カフーナ旭橋C街区オフィスコート4F TEL 098-863-1228（代表）　FAX 098-866-5074

（2011年4月1日現在）

目次

ご使用になる前に 1

本機の特長 2
付属品について 2
取り扱い上のご注意 2
ラックマウントについてのご注意 2
携帯電話使用時のご注意 2
結露（つゆつき）について 2
お手入れについて 2

各部の名前とはたらき 3

フロントパネル 3
リアパネル 4
ディスプレイの表示について 5
表示の切り替えかた 5
停止中の表示 5
録音中、録音一時停止中の表示 6
再生中、再生一時停止中の表示 6

接続 7

アナログ接続（バランス接続） 7
準備 7
オーディオ接続に使用するケーブル 7
オーディオ接続 7
アナログ接続（アンバランス接続） 7
デジタル接続 7
パソコンとの接続 7
RS-232C 端子 8
外部コントロール端子の接続 8
パラレルポート 8
リモート端子 8
ヘッドホンの接続 8
電源コードの接続 8
メディアの装着について 8
SD カード 8
USB ドライブ 9
SD/USB メディアの切り替え 9
メディアを装着する際のご注意 9

初期設定のしかた 10

メニュー一覧 10
初期設定のしかた 11
メニュー操作のしかた 11
録音や再生のための設定（Presets） 11
ディスプレイ表示の設定（Display） 14
日時の設定（Time/Date） 14
ユーティリティー機能（Utility） 15
ファームウェアバージョンの確認（F/W Version） 15

録音 16

録音ファイルを格納するフォルダの選びかた 16
録音のしかた 16
録音中にできること 17
録音中にファイルを追加する（マニュアルトラック） 17
マークを追加する（マーキング） 17
カスケード録音について 17
録音時間チャート 18

再生 19

再生するフォルダの選びかた 19
再生のしかた 19
再生中にできること 20
ファイルを切り替える（|◀◀, ▶▶|） 20
早送りや早戻しをする（サーチ） 20
フレーム単位でジャンプする（フレームジャンプ） 20
一定時間戻って再生する（スキップバック） 20
再生のピッチを調節する（ピッチコントロール） 21
マークを追加する（マーキング） 21
マークを検索する 21
ファイルを分割する 21
好きな順に再生する（プログラム再生） 22

USB モード（本機とパソコンの接続） 23

パソコンとの接続 23

ファイルやフォルダの設定 24

ファイルメニュー 24
ファイルの再生（01 Play） 24
ファイル情報（02 Information） 24
ファイル名の変更（03 Rename） 24
ファイルの消去（04 Delete） 25
ファイルのコピー（05 Copy） 25
ファイルの移動（06 Move） 25
マークの削除（07 Delete Mark） 25
フォルダメニュー 25
フォルダの選択（1 Select） 26
フォルダの作成（2 Make Folder） 26
フォルダ名の変更（3 Rename） 26
フォルダの消去（4 Delete） 26
ストレージメニュー 27
その他の機能 27
操作ボタンをロックする（キーロック） 27

コントロール機能 28

REMOTE 端子 1 28
REMOTE 端子 2 28
USB キーボード 29
RC-F400S を使ったいろいろな再生 30
各部の名称とはたらき 30
接続のしかた 32
ホットスタート再生 33
メイン画面からの再生 35
RS-232C コントロール 36
RS-232C の制御について 36
パラレルコントロール 48

情報 50

エラーメッセージ 50
RC-F400S のエラーメッセージ 50
故障かな？と思ったら 51
主な仕様 52

保証と修理について 53

索引 53

ライセンス 1

本機の特長

- ステレオ（２チャンネル）またはモノラル（１チャンネル）の録音と再生
- 各種 SD カードや USB フラッシュメモリー、外付け USB デバイス（マスストレージクラス）への録音
- 2 種類の録音形式
  - MP3（MPEG1 レイヤーⅢ）音声圧縮方式の録音
  - 16ビットまたは24ビットのリニアPCM方式（非圧縮音声）の録音。最高で 24 ビット 96kHz の非圧縮録音に対応
- 日本語表示対応の大型有機 EL ディスプレイ
- バランス XLR コネクターをすべての入出力に装備
- パソコンとの互換性（MS-DOS™、Windows、Macintosh 互換オーディオファイル）
- 音がないときは録音を停止し、音を検出すると録音を再開する自動録音（サイレントスキップ）
- 手動および自動での録音レベルコントロール（ALC）
- 録音時に SD カードの記録残量がなくなると自動的に USB ドライブへ録音を継続させるカスケード録音機能
- ファイルを加工することなく、特定の検索ポイントを作ることができるマーク機能
- 設定した時間だけ戻って再生をおこなうスキップバック機能
- 再生スピードを -40% から +20% まで、0.1% ステップで調節できるピッチコントロール再生
- 再生ピッチの調節によって生じる音程の変化を、通常の音程に補正するキーコントロール機能
- ワイヤードリモート、パラレルポート、RS-232C コントロール、USB キーボードの 4 通りのリモートコントロール操作に対応
- 録音したファイル、マークの編集のための Windows アプリケーション DMP Mark Editor を付属

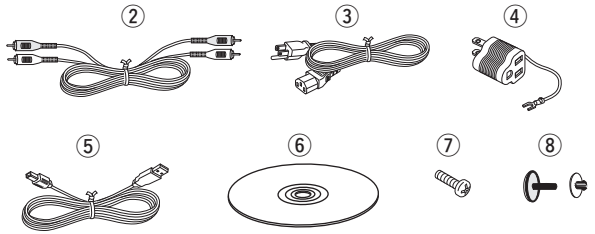
SDHC ロゴは商標です。

付属品について

ご使用の前にご確認ください。

① 取扱説明書（本書）.....1
② オーディオケーブル.....1
③ 電源コード【本機専用】（長さ：約２m）.....1
④ 電源プラグ変換アダプター（3ピン→2ピン）.....1
⑤ USBケーブル.....1
⑥ CD-ROM 1
- DN-F650R 取扱説明書
- DMP Mark Editor インストーラー
- DMP Mark Editor 取扱説明書

⑦ SDカードドア用セキュリティねじ.....2
⑧ プラスチックピンとリテーナー.....各1
（お買い上げ時は SD カードドアに取り付けています。）
⑨ 保証書（梱包箱に貼り付けています。）.....1



ご注意

伝導ノイズや妨害ノイズによって本機が誤動作する場合があります。パソコンと本機を接続するときは、付属の USB ケーブルを使用してください。

取り扱い上のご注意

ラックマウントについてのご注意

❑ 本機をラックマウントするのに必要なラックの仕様

- EIA 規格の 19 インチラック
- 1U サイズ取り付け対応のラック
- 本機を支えるガイドレールや本機を載せる棚板があるラック

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置でご使用ください。

結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部）に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1 ～ 2 時間放置してから使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

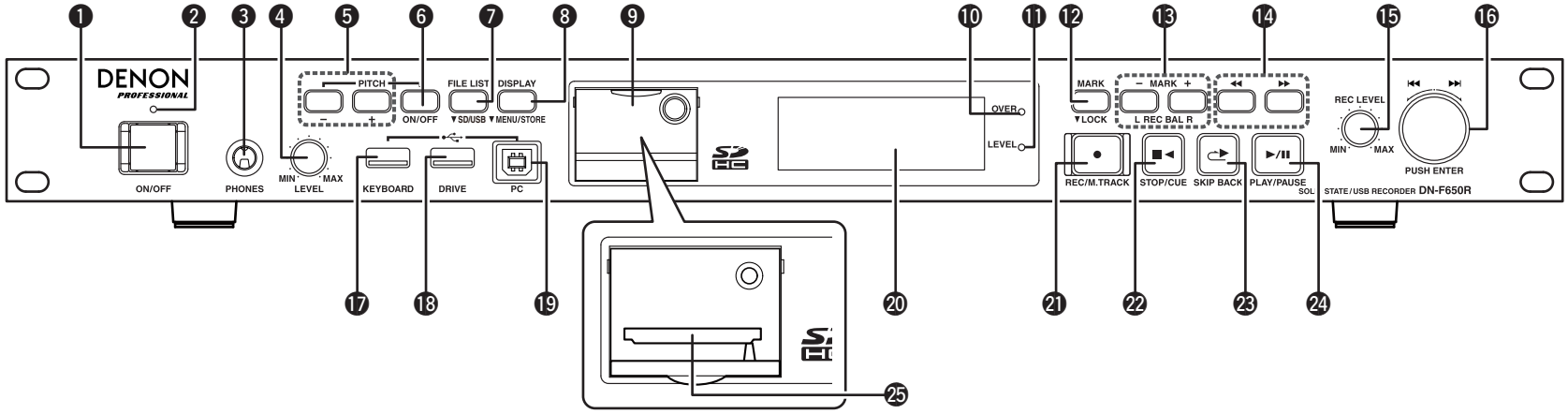
ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

各部の名前とはたらき

フロントパネル

各部のはたらきなど詳しい説明については、( )内のページをご覧ください。



❶ **電源スイッチ(ON/OFF)**……(11)

❷ **電源表示**……(11、38)
- 電源がオンのときは、青色に点灯します。
- 電源がスタンバイのときは、輝度を落として点灯します。

❸ **ヘッドホン端子(PHONES)**……(8)

❹ **ヘッドホン音量調整つまみ (LEVEL)**……(8)
つまみを押すと、つまみがとび出します。調節が終わったら、つまみを押し込んでください。

ご注意

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないように注意してください。

❺ **ピッチコントロールボタン (PITCH –、+)**……(21)

❻ **ピッチボタン (PITCH ON/OFF)**……(21)

❼ **ファイルリストボタン (FILE LIST、SD/USB)**……(16)
1 秒以上長押しして、挿入しているメディアを切り替えることができます。

❽ **ディスプレイ/メニューボタン (DISPLAY、MENU/STORE)**……(5、11)

❾ **SDカードドア**……(8)

❿ **レベルオーバー表示 (OVER)**……(16)
録音中や録音一時停止中に、録音レベルがレベルメーター表示の -1dB を超えたとき、赤色に点灯します。

⓫ **レベル表示(LEVEL)**……(12)
録音レベルや再生レベルが設定メニューの“08 Level LED”で設定しているレベルを超えたとき、緑色に点灯します。

⓬ **マーク、ロックボタン (MARK、LOCK)**……(17、27)

⓭ **マークサーチ/録音バランスボタン (MARK –/+、REC BAL L/R)**……(16、21)

⓮ **早送り/早戻しボタン(◀◀、▶▶)**……(20)

⓯ **録音レベル調節つまみ (REC LEVEL)**……(16)
つまみを押すと、つまみがとび出します。調節が終わったら、つまみを押し込んでください。
“07 LevelCont”の設定が“ALC”のときや、“02 Input”の設定が“SPDIF”または“AES/EBU”のときは、このつまみを調節できません。

⓰ **ジョグダイヤル (I◀◀、▶▶I、PUSH ENTER)**……(11、20)

⓱ **キーボード用USBポート (KEYBOARD)**……(29)

⓲ **USBドライブ用USBポート (DRIVE)**……(9)

⓳ **PC用USBポート**……(7)

⓴ **ディスプレイ**……(5)

㉑ **録音、マニュアルトラックボタン (REC/M.TRACK)**……(16、17)
- 録音中は、赤色に点灯します。
- 録音一時停止中は、赤色で点滅します。

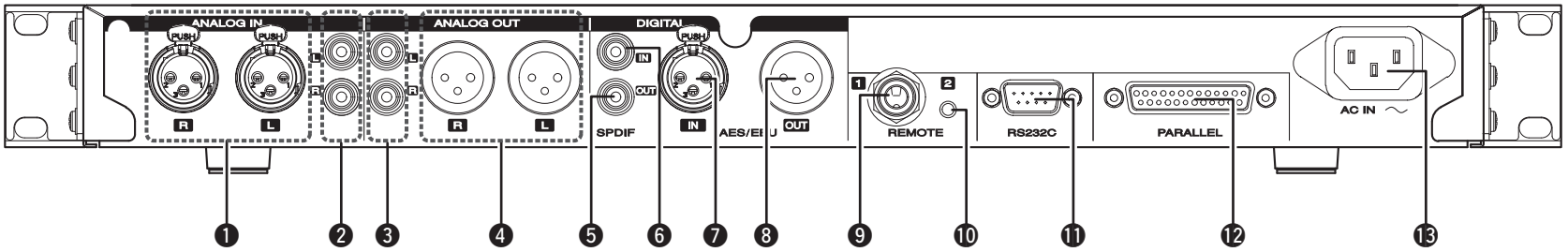
㉒ **停止、キューボタン (STOP/CUE)**……(17)

㉓ **スキップバックボタン (SKIP BACK)**……(20)
設定メニューの“13 Skip Back”で設定した時間だけ戻って再生します。

㉔ **再生/一時停止ボタン (PLAY/PAUSE)**……(19)
- 再生中は、緑色に点灯します。
- 再生一時停止中は、緑色で点滅します。

㉕ **SDカードスロット**……(8)

リアパネル



❶アナログ入力(バランス)端子 ……(7)
- XLR タイプ
- ピン配置：1 GND、2 Hot、3 Cold
- 適用コネクタ：XLR-3-12C または同等品

❷アナログ入力(アンバランス)端子……(7)
- RCA タイプ

❸アナログ出力(アンバランス)端子……(7)
- RCA タイプ

❹アナログ出力(バランス)端子 ……(7)
- XLR タイプ
- ピン配置：1 GND、2 Hot、3 Cold
- 適用コネクタ：XLR-3-11C または同等品

❺デジタル出力(RCA)端子……(7)
- RCA タイプ
- 信号形式：IEC-60958(SPDIF)

❻デジタル入力(RCA)端子……(7)
- RCA タイプ
- 信号形式：IEC-60958(SPDIF)

❼デジタル入力(XLR)端子……(7)
- XLR タイプ
- ピン配置：1 GND、2 Hot、3 Cold
- 信号形式：IEC-60958(AES/EBU)
- 適用コネクタ：XLR-3-12C または同等品

❽デジタル出力(XLR)端子……(7)
- XLR タイプ
- ピン配置：1 GND、2 Hot、3 Cold
- 信号形式：IEC-60958(AES/EBU)
- 適用コネクタ：XLR-3-11C または同等品

❾REMOTE端子1 ……(8)
モノラルホン端子付きのワイヤードリモートスイッチを接続します。

❿REMOTE端子2 ……(8)
別売りのマイクリモート RC600PMD または外部リモートコントローラーを接続します。

⓫RS-232C 端子 ……(8)

⓬パラレルポート(PARALLEL)……(8)

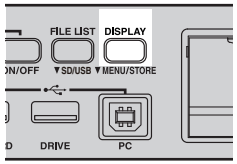
⓭AC インレット ……(8)

ディスプレイの表示について

本機のディスプレイには、本機や各メディアに関するさまざまな情報を表示します。
表示する内容は、本機の動作状態(停止 / 録音 / 再生)によって異なります。

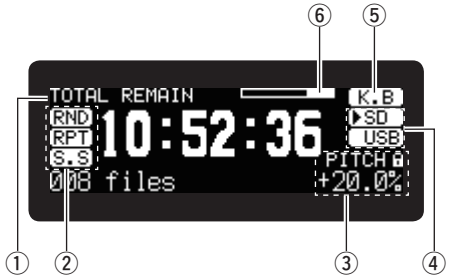
表示の切り替えかた

DISPLAY を押す。



- 押すたびに表示の内容を切り替えます。
- 各動作中の表示内容については、「停止中の表示」(☞5 ページ)、「録音中、録音一時停止中の表示」(☞6 ページ)、「再生中、再生一時停止中の表示」(☞6 ページ) をご覧ください。

❑各動作中の共通な表示について



① 表示画面のタイトル表示

② 設定中のモード表示

RND : ランダム再生モード(☞12 ページ)

PRG : プログラム再生モード(☞12 ページ)

RPT : リピート再生モード(☞12 ページ)

S.S : サイレントスキップモード(☞12 ページ)

③ ピッチコントロール表示(☞12ページ)

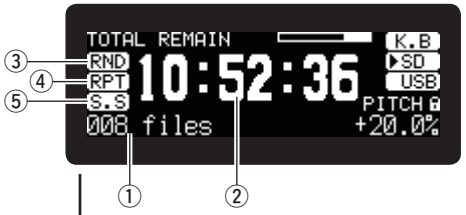
④ メディア表示
- 本機に装着しているメディアを表示します。
- "▶"は現在選択中のメディアを表します(☞27 ページ「ストレージメニュー」)。

⑤ 本機のキーボード用USBポートにキーボードを接続しているときに表示します。

⑥ 選択中のメディア(SDカード/USBドライブ)の残り容量を表示します。

停止中の表示

❑ 総録音残り時間表示



① 現在のフォルダ内の総ファイル数

② 総録音残り時間表示

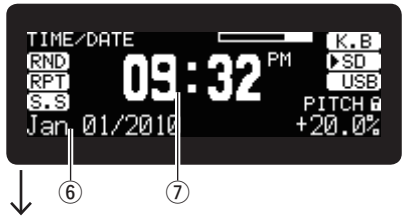
③ プリセット"14 Play Mode"のRandom設定時またはプログラム再生時の表示
※ Cont、Single に設定されている場合は表示しません。

④ プリセット"16 Repeat"のオン/オフ表示
※オフの場合は表示しません。

⑤ プリセット"11 Silent Skip"のオン/オフ表示
※オフの場合は表示しません。

残り時間が 100 時間を超えるときは、"99:59:59"を表示します。

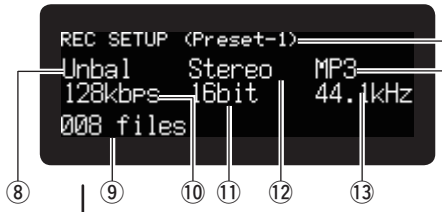
❑ 現在の時刻 / 日付表示



⑥ 現在の日付

⑦ 現在の時刻

❑ 録音設定情報表示



⑧ 録音入力ソース

⑨ 現在のフォルダ内の総ファイル数

⑩ MP3ビットレート
※録音ファイル形式が PCM のときは表示しません。

⑪ 量子化ビット数

⑫ 録音チャンネル

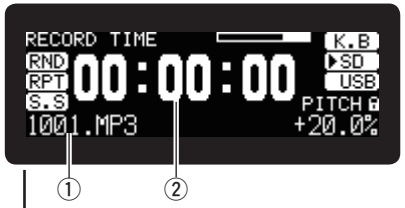
⑬ サンプリング周波数

⑭ 選択中のプリセット名

⑮ 録音ファイル形式

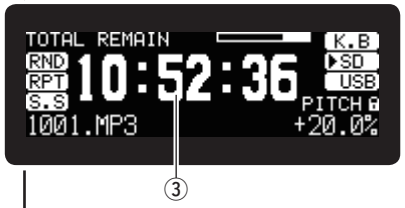
録音中、録音一時停止中の表示

❑ 録音経過時間表示



① 録音中のファイル名
② 録音経過時間

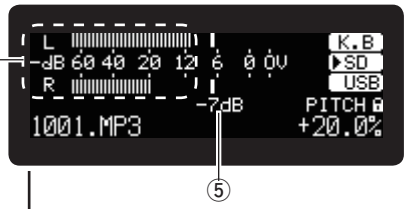
❑ 総録音残り時間



③ 総録音残り時間
※選択しているプリセットメニューの録音フォーマットによって時間が変わります。

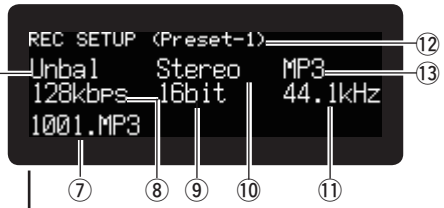
残り時間が 100 時間を超えるときは、“99:59:59”を表示します。

❑ 録音レベル表示



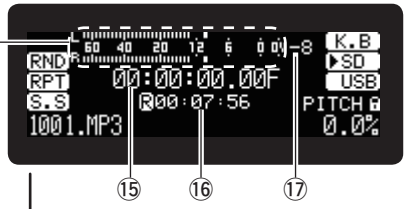
④ 録音入力レベル
⑤ レベルメーターのピークホールド値
※ L/R の大きい方を表示します。

❑ 録音設定情報表示



⑥ 録音入力ソース
⑦ 録音中のファイル名
⑧ MP3ビットレート
※録音ファイル形式が PCM のときは表示しません。
⑨ 量子化ビット数
⑩ 録音チャンネル
⑪ サンプリング周波数
⑫ 選択中のプリセット名
⑬ 録音ファイル形式

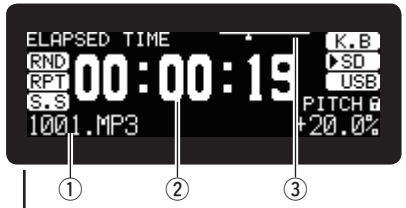
❑ 録音時間・レベル表示



⑭ 録音入力レベル
⑮ 録音経過時間
⑯ 総録音残り時間
⑰ レベルメーターのピークホールド値
※ L/R の大きい方を表示します。

再生中、再生一時停止中の表示

❑ 再生経過時間表示



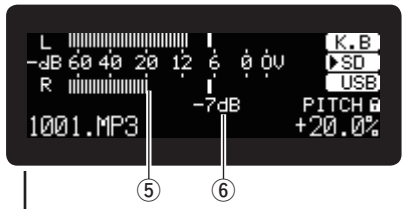
① 再生中のファイル名
② 再生経過時間
③ 再生中のファイル位置
※ VBR で記録されたファイルのときは、位置表示をしません。

❑ 再生残り時間表示

④ 再生残り時間
※再生ファイルが VBR のときは“VBR”を表示します。

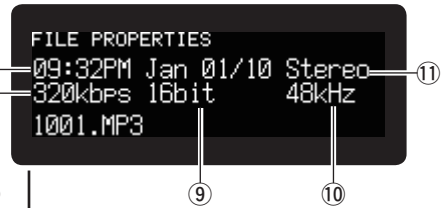
残り時間が 100 時間を超えるときは、“99:59:59”を表示します。

❑ 再生出力レベル表示



⑤ 再生出力レベル
⑥ レベルメーターのピークホールド値
※ L/R の大きい方を表示します。

❑ ファイル情報表示



⑦ ファイル作成日時
⑧ MP3ビットレート
※ファイル形式が PCM のときは“PCM”を、形式が VBR のときは“VBR”を表示します。
⑨ 量子化ビット数
⑩ サンプリング周波数
⑪ 再生チャンネル

❑ 再生時間・レベル表示

⑫ 再生出力レベル
⑬ 再生経過時間
⑭ 再生残り時間
⑮ レベルメーターのピークホールド値
※ L/R の大きい方を表示します。

接続

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 接続ケーブルのプラグは確実に接続端子に接続してください。不完全な接続は、雑音の原因となります。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくＬとL、ＲとＲを接続してください。
- 入力と出力は正しく接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。
- 本機はマイクの接続に対応していません。

準備

オーディオ接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

音声ケーブル

アナログ接続(RCA)

ステレオ音声ケーブル(付属)

デジタル接続(RCA)

同軸デジタルケーブル(別売)

アナログ接続(XLR)、デジタル接続(XLR)

バランスケーブル(別売)

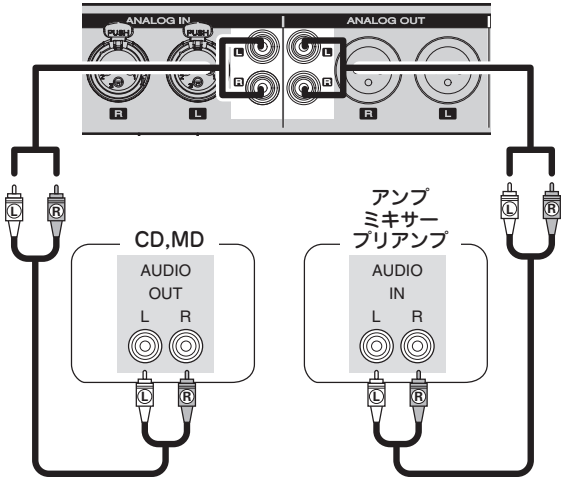
パソコンとの接続用ケーブル

USB ケーブル(付属)

オーディオ接続

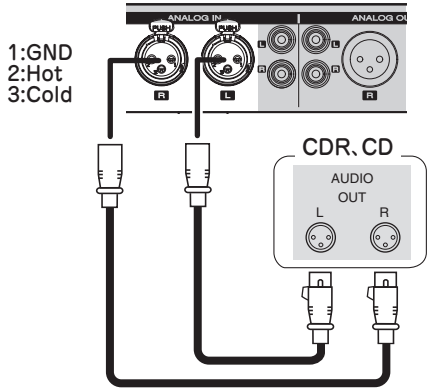
アナログ接続(アンバランス接続)

アナログ入出力(アンバランス)端子にラインレベルのアナログ入力または出力を接続してください。



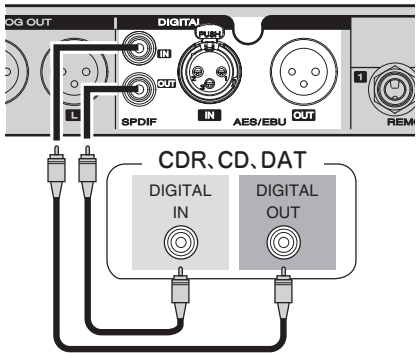
アナログ接続(バランス接続)

アナログ入出力(バランス)端子にラインレベルのアナログ入力または出力を接続してください。



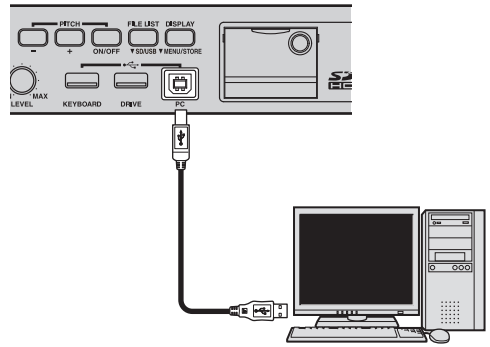
デジタル接続

再生または録音用に、デジタル入出力端子の SPDIF または AES/EBU に接続してください。



パソコンとの接続

本機の USB ポートとパソコンを USB ケーブルで接続します。

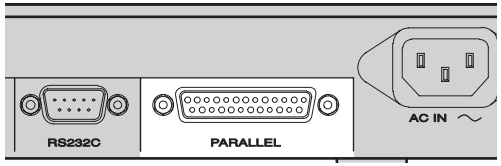


USB 接続をすると USB モードになり、本機の SD カードからパソコンのハードディスクドライブにオーディオファイルを簡単にコピーできます。
USB 接続が有効になるのは、本機が停止状態(録音・再生中およびメニュー表示中は無効)のときのみです。
USB モードについては、「USB モード(本機とパソコンの接続)」(☞23 ページ)をご覧ください。

外部コントロール端子の接続

パラレルポート

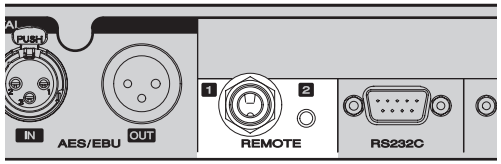
パラレルポートに外部機器を接続します。



パラレルコントロールを利用して、外部機器から本機の制御と設定ができます。
パラレルコントロールについては、「パラレルコントロール」(☞48 ページ) をご覧ください。

リモート端子

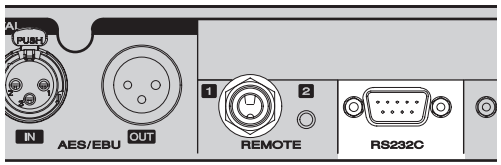
- モノラルホン端子付きのワイヤードリモートスイッチを本機の REMOTE 端子 1 に接続します。
- 別売りのマイクリモート RC600PMD または外部リモートコントローラーを REMOTE 端子 2 に接続します。



REMOTE 端子 1 では、4 つのリモートオプション「REMOTE 端子 1」(☞28 ページ) を利用できます。

RS-232C 端子

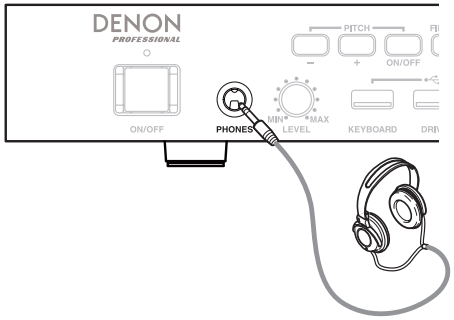
RS-232C シリアル端子に D-sub9 ピンの RS-232C ストレートケーブルを接続します。



RS-232C コントロールにより、ホスト機器による外部からの制御をおこなうことができます。
RS-232C コントロールについては、「RS-232C コントロール」(☞36 ページ) をご覧ください。

ヘッドホンの接続

ヘッドホン端子 (PHONES)にヘッドホンを接続してください。



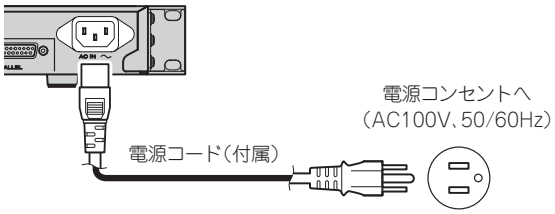
ヘッドホン音量調整つまみ (LEVEL) を押すと、つまみがとび出します。音量の調節が終わったら、つまみを押し込んでください。

ご注意

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないように注意してください。

電源コードの接続

すべての接続が終わってから、電源コードを接続してください。
電源プラグが直接コンセントに差し込めない場合は、付属の電源プラグ変換アダプター(3P → 2P)を使用してください。
その場合は必ず安全アースを接地してください。



ご注意

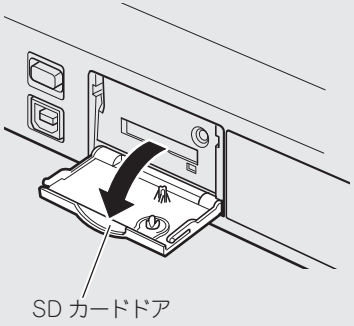
- 電源プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な差し込みは、誤動作や雑音の原因になります。
- 本機が動作しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 付属の電源コード以外のコードを使用しないでください。

メディアの装着について

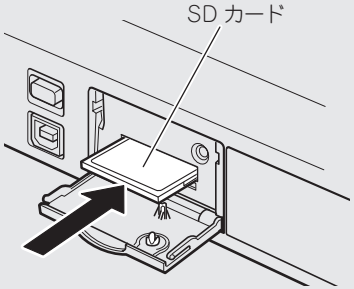
SD カード

❑SD カードの差し込みかた

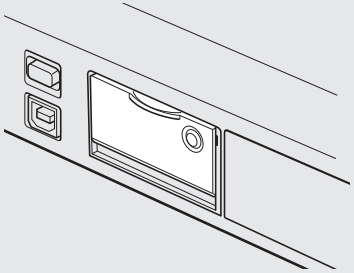
1 **SD カードドアを矢印方向に開く。**
画面に“DOOR OPEN”を表示します。



2 **SD カードスロットに SD カードを奥まで差し込む。**



3 **SD カードドアを閉じる。**

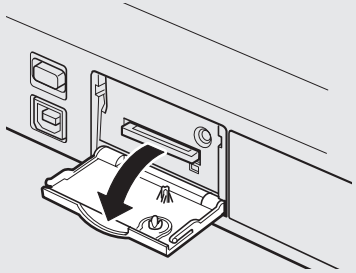


SD カードドアがカチッと閉まらないときは、SD カードが奥まで正しく差し込まれているかを確認してください。

❑SD カードの取り出しかた

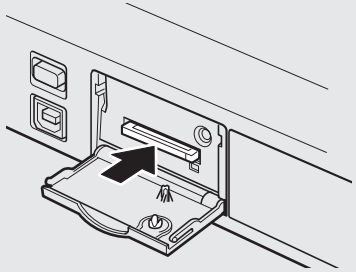
あらかじめ、SD カードの再生や録音が停止していることを確認してください。

1 **SD カードドアを矢印方向に開く。**
画面に“DOOR OPEN”を表示します。



- “DOOR OPEN”表示中も実行中の操作はそのまま継続します。
- “DOOR OPEN”表示を消す場合は、SD カードドアを閉じるか、ジョグダイヤルを押してください。

2 **SD カードを押す。**
SD カードが手前に出ます。カードを引き抜いてください。



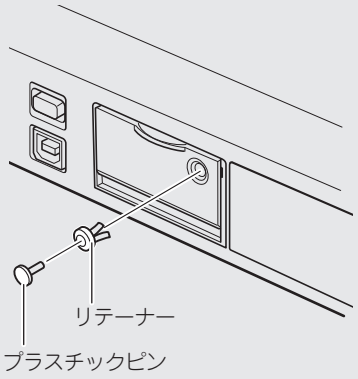
ご注意

録音中に SD カードを取り外すと録音したファイルが正しく書き込まれない場合があります。
録音中は SD カードを取り外さないでください。

❑SD カードの保護について

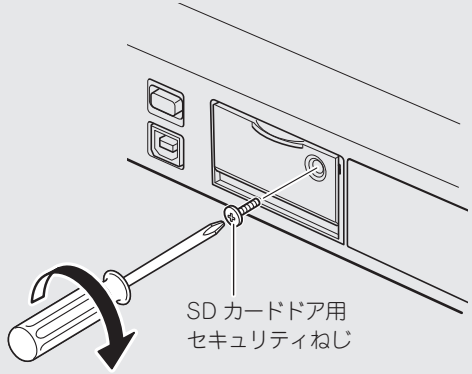
本機の SD カードドアを付属の SD カード用セキュリティねじを使って固定することができます。（お手持ちの小型プラスドライバーをお使いください。）
SD カードドアを固定すると、簡単にドアが開かなくなり、SD カードの紛失を防ぎます。

1 **プラスチックピン、リテーナーを取り外す。**



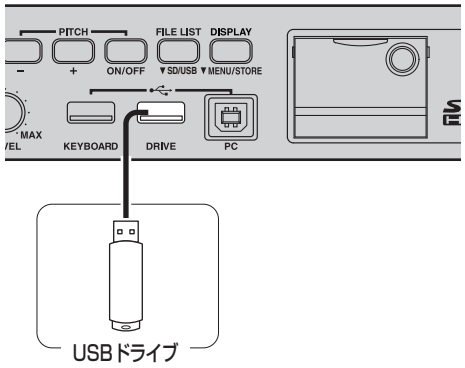
- 取り外したプラスチックピンとリテーナーは、大切に保管してください。

2 **プラスチックピンを外したねじ穴にセキュリティねじを取り付け、小型のプラスドライバーでしっかりと締めてください。**



USB ドライブ

本機は USB フラッシュメモリー、外付け USB デバイス（マスストレージクラス）に対応しています。
※ USB ハブには対応していません。
※ファイルシステムは FAT16/FAT32 に対応しています。



ご注意

録音中に USB ドライブを取り外すと録音したファイルが正しく書き込まれない場合があります。
録音中は USB ドライブを取り外さないでください。

SD/USB メディアの切り替え

FILE LIST を 1 秒以上長押しして、挿入しているメディアを切り替えることができます。

- メディアの切り替えが有効になるのは、本機が停止状態のときのみです。この機能は録音中、再生中またはメニュー画面表示中は無効となります。

メディアを装着する際のご注意

- **ひび割れや変形、または接着剤などで補修した SD カードおよび USB ドライブは使用しないでください。**
- 装着時および読み込み中は画面に“Loading...”を表示します。この表示のときはメディアを抜かないでください。

初期設定のしかた

メニュー一覧

メニュー操作のしかたは、「メニュー操作のしかた」（☞11 ページ）をご覧ください。また、各項目の詳しい説明は表の「参照ページ」をご覧ください。

設定項目	詳細項目			内容	参照ページ	各プリセットの初期値		
						Preset-1	Preset-2	Preset-3
01 Presets	Preset-1/ Preset-2/ Preset-3	01 Select		選択したプリセット番号に切り替えます。	11	—	—	—
		02 Edit	01 Storage	電源オン時に優先してアクセスするストレージ（メディア）を設定します。	11	SD Card	SD Card	SD Card
			02 Input	録音するオーディオ入力ソースを設定します。	11	Bal	Bal	Bal
			03 Rec Format	録音する音声方式（MP3 または PCM）を設定します。	11	MP3-128	MP3-320	PCM-24
			04 RecChan (Record Channel)	録音チャンネル数を設定します。	11	Stereo	Stereo	Stereo
			05 Samp Freq (Sampling Frequency)	録音するサンプリング周波数を設定します。	11	44.1k	44.1k	96k
			06 RefLevel	XLR アナログ入出力の基準レベルを設定します。	12	+24dBu	+24dBu	+24dBu
			07 LevelCont	録音レベルの調整方法を設定します。	12	ALC	Manual	Manual
			08 Level LED	本体の Level 表示が点灯する入出力レベルを設定します。	12	-6dB	-6dB	-6dB
			09 Auto Track	一つのファイルの録音時間を設定します。	12	Off	Off	Off
			10 Auto Mark	無音検出によるマークの書き込みの設定をします。	12	Off	Off	Off
			11 SilentSkp (Silent Skip)	無音検出による録音一時停止や録音再開の設定をします。	12	Off	Off	Off
			12 SilentLvl (Silent Level)	10 Auto Mark、11 Silent Skip の無音レベルを設定します。	12	-38dB	-38dB	-38dB
			13 Skip Back	再生中や一時停止中に **SKIP BACK** ボタンを押したときの戻り時間を設定します。	12	2sec	2sec	2sec
			14 Play Mode	再生モードを設定します。	12	Cont	Cont	Cont
			15 FinishMod (Finish Mode)	再生停止時の停止状態を設定します。	12	Next	Next	Next
			16 Repeat	リピート再生の設定をします。	12	Off	Off	Off
			17 PowOnMode (Power On Mode)	電源を入れたときの動作を設定します。	12	STOP	STOP	STOP
			18 KeyCtrl (Key Control)	再生ピッチを調節したときの音程の設定をします。	12	Off	Off	Off
			19 Auto Cue	オートキュー機能の設定をします。	13	Off	Off	Off
			20 Remote1	リモート端子 1 に接続している機器からの制御信号を受けておこなう動作を設定します。	13	StartPaus	StartPaus	StartPaus
			21 ParaRem (Parallel Remote)	パラレルリモート機能の動作モードを設定します。	13	Normal	Normal	Normal
			22 Keyboard	キーボード用 USB ポートに接続したキーボードの言語タイプを設定します。	13	US ※1	US ※1	US ※1
			23 Machine ID	ファイル名に含まれるマシン ID 情報を設定します。	13	1	1	1
			24 Default	各プリセット番号ごとに、プリセットの設定内容を初期化します。	13	—	—	—
		03 Rename		プリセットの名前をお好みの名前に変更します。	13	Preset-1	Preset-2	Preset-3
02 Display	01 Contrast			ディスプレイのコントラストを設定します。	14	5		
	02 Time Form			現在時刻表示のタイプを設定します。	14	12H		
	03 Date Form			日付の表示順を設定します。	14	M/D/Y		
	04 File Sort			ファイルの並び順のソート方法を設定します。	14	Date		
	05 Language			ファイル名およびフォルダ名の表示言語を選択します。	14	Eng ※2		
	06 Auto Off			自動電源オフの設定をします。	14	Disable		
	07 Default			"02 Display" のすべての設定内容を初期化します。	14			
03 Time/Date				現在の日時を設定します。	14			
04 Utility	01 Load Settings			メディアに保存しているプリセットメニューとディスプレイメニューの設定データを読み込み、本機の設定をそのメディアの設定データに変更します。	14			
	02 Save Settings			本機のすべてのプリセットメニューとディスプレイメニューの設定データをメディアに保存します。	14			
	03 Media Format			メディアをフォーマットします。	14			
05 F/W Version				本機の現在のファームウェアのバージョンを表示します。	15			

※1　日本で販売する製品は、お買い上げ時 "JP" に設定しています。
※2　日本で販売する製品は、お買い上げ時 "JPN" に設定しています。

プリセットの初期値は、それぞれ次の用途を想定しています。
- Preset-1：会議などの録音用
- Preset-2：音楽用の圧縮録音
- Preset-3：最高音質の非圧縮録音

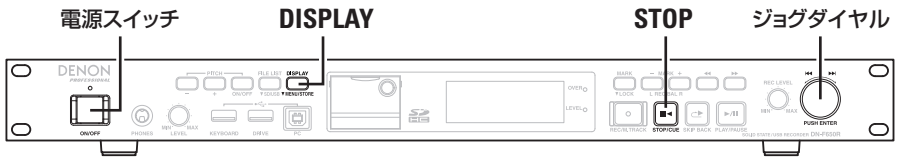
ご注意

各メニューの Default をおこない、プリセットの設定内容を初期化した場合は、表中右の各プリセットの初期値の値になります。

初期設定のしかた

本機は、本機に入力している音声を、SD カードや USB ドライブに録音することができます。本機の録音や再生に関する各種の設定をお使いいただくことで、幅広いアプリケーションに対応することができます。
また、本機には各種の設定を３通りまでプリセット登録できますので、あらかじめ目的に応じた録音や再生の設定パターンをプリセットしてください。プリセット番号を切り替えるだけでそれぞれの目的に応じた設定に切り替えることができます。

メニュー操作のしかた



1 電源スイッチを押す。
本機の電源がオンになり、電源表示が青色に点灯します。

2 停止中に DISPLAY を 1 秒以上長押しする。
メニュー一覧を表示します。
•各メニューに含まれる設定項目は、「メニュー一覧」(☞10 ページ) をご覧ください。

3 ジョグダイヤルを回して設定を変更する項目を選び、ジョグダイヤルを押す。
次の階層のメニュー一覧を表示します。

4 設定を変更したい項目を選び、ジョグダイヤルを押す。
設定項目が確定します。
•続けて他の項目を設定する場合は、手順 3 の操作をおこなってください。
•現在設定中のメニュー階層から上のメニューに戻るときは、ジョグダイヤルを長押ししてください。

5 すべての設定が終わったら DISPLAY を押す。
設定の変更を保存して、停止状態に戻ります。

設定を中止する場合は、保存する前に **STOP** を押してください。

録音や再生のための設定(Presets) ☞11 ページ
ディスプレイ表示の設定(Display) ☞14 ページ
日時の設定(Time/Date) ☞14 ページ
ユーティリティー機能(Utility) ☞15 ページ
ファームウェアバージョンの確認(F/W Version) ☞15 ページ

録音や再生のための設定(Presets)

この設定は、３つのプリセット(Preset-1 / Preset-2 / Preset-3)を別々におこないます。
はじめに、メニューの “01 Presets”から設定するプリセット番号を選びます。
次に、“02 Edit”を選んでください。

設定項目	設定内容
01 Storage 電源をオンにしたとき、優先的にアクセスするストレージ(メディア)を選びます。	**SD Card**：SD カードにアクセスします。 **USB Drive**：USB ドライブにアクセスします。
02 Input 録音するオーディオ入力ソースを選びます。	**Bal**：XLR アナログ入力端子のソースを録音します。 **Unbal**：RCA アナログ入力端子のソースを録音します。 **AES / EBU**：XLR デジタル入力端子のソースを録音します。 **SPDIF**：RCA デジタル入力端子のソースを録音します。
03 Rec Format 録音する音声方式(MP3 または PCM)を選びます。	**MP3-320 / MP3-256 / MP3-192 / MP3-128 / MP3-64 / PCM-16 / PCM-24** •各ビットレートの値はステレオファイルとして録音した場合を示します。 •MP3 方式では、ビットレートを選びます。 •PCM 方式では、量子化ビット数を選びます。 **ご注意** “05 Fs”で“96kHz”に設定しているときは、MP3 方式の選択はできません。
04 RecChan (Record Channel) ステレオファイルとして録音をするか、モノラルファイルとして録音をするかを選びます。	**Stereo**：ステレオ(２チャンネル)ファイルとして録音します。 **Mono**：モノラル(１チャンネル)ファイルとして録音します。
05 Samp Freq (Sampling Frequency) 録音するサンプリング周波数を選びます。	**44.1k**：44.1kHz で録音します。 **48k**：48kHz で録音します。 **96k**：96kHz で録音します。“03 Rec Format”で“PCM-16”または“PCM-24”に設定しているときに選べます。

設定項目	設定内容
06 RefLevel アナログ入出力(バランス)の最大レベルを選びます。	**+24dBu / +20dBu / +18dBu / 0dBu**（0dB フルスケール基準） 0dB フルスケールのレベルを示します。例えば、+24dBu を選択した場合、-20dB で基準の +4dBu になります。 • 入力レベルと出力レベルを同じレベルに設定します。 • XLR 接続している機器に合わせて設定してください。
07 LevelCont 録音レベルの調整方法を選びます。	**Manual**：録音レベルをお好みの値に調節できます。 **ALC**：本機が録音レベルを自動的に調節します。 ALC設定をオンにすると、入力信号が無い場合、録音入力レベルのメーター最小値がまれに点灯することがありますが、録音には支障ありません。
08 Level LED 本体の Level 表示が点灯する入出力レベルを設定します。	**-6dB / -12dB / -20dB / -38dB / -54dB** ディスプレイのレベルメーターとは別に、録音ピークレベルの確認や入力信号の有無の確認など、いろいろな目的にお使いいただけます。
09 Auto Track 設定した時間ごとに新しいファイルをつくり、録音を続けます。	**Off**：ファイルを更新せずに録音をします。 **1min / 5min / 10min / 15min / 30min / 1hour / 2hour / 6hour / 8hour / 12hour / 24hour** **ご注意** • 録音しているファイルの容量が 4GB に達すると、設定している時間にかかわらず、新しいファイルに切り替えて録音を続けます。 • 録音したファイルの容量などによってはファイルの切り替わり目にわずかな音切れが生じることがあります。
10 Auto Mark "12 Silent Level"で設定している入力レベル未満の入力が3秒以上続くと、ファイルにマーキング情報を書き込みます。このマークは再生中に特定の場所を検索するときに便利です。	**Off**：オートマーク機能をオフにします。 **On**：オートマーク機能をオンにします。 • 一つのファイルに最大 30 個のマークを書き込むことができます。 • マーキング番号は 1 番から順番に付与します。 • マークは手動でも付けることができます。「マークを追加する(マーキング)」(☞17 ページ) をご覧ください。 • 付属ソフト "DMP Mark Editor" でマークの編集ができます。詳しくは、付属の CD-ROM の取扱説明書をご覧ください。
11 SilentSkp **(Silent Skip)** "12 Silent Level"で設定している入力レベル未満の入力が 3 秒以上続くと、録音を一時停止します。再び設定値以上のレベルを入力すると、録音を再開します。	**Off**：サイレントスキップ機能をオフにします。 **On**：サイレントスキップ機能をオンにします。ディスプレイの **S.S** 表示が点灯します。 • サイレントスキップ機能により録音が一時停止状態になっている場合は、ディスプレイの **S.S** (☞5 ページ) 表示が点滅します。 • "11 SilentSkp" を "On" に設定している場合は、録音一時停止状態から録音を開始する前に、最大 0.5 秒のプリ録音が追加されます。

設定項目	設定内容
12 SilentLvl **(Silent Level)** "10 Auto Mark"または"11 Silent Skip"を"オン"に設定しているときの無音判定レベルを設定します。	**-60dB / -54dB / -38dB / -20dB**
13 Skip Back 再生中または一時停止中に **SKIP BACK** ボタンを押したときに、この設定した時間だけ戻って再生をします。	**0.5sec ～ 10sec**：0.5 秒間隔で設定します。 **10sec ～ 60sec**：5 秒間隔で設定します。
14 Play Mode 再生モードを選びます。	**Cont (Continuous)**：ファイルを順番どおりに連続再生します。最後のファイルの再生が終わると停止します。 **Single**：ファイルの再生が終わると、"15 Finish Mode" で設定している停止位置で停止します。 **Random**：ファイルを順不同で再生します。すべてのファイルの再生が終わると停止します。"Random" に設定されている場合は、ディスプレイの **RND** 表示が点灯します。
15 FinishMod **(Finish Mode)** 再生停止時の停止状態を設定します。	**Next**：ファイル再生時に **STOP** ボタンを押すと、次のファイルの先頭で停止します。 **Recue**：ファイル再生時に **STOP** ボタンを押すと、最後に再生開始したところで停止します。
16 Repeat ファイルのリピート再生の設定をします。	**Off**：リピート再生をおこないません。 **On**：リピート再生をおこないます。ディスプレイの **RPT** 表示が点灯します。 "14 Play Mode" で設定している再生モードによって次の動作になります。 • "Cont" のときは、すべてのファイルをリピート再生します。 • "Single" のときは、再生しているファイルのみをリピート再生します。 • "Random" のときは、すべてのファイルの再生が終わると、次に違った再生順でランダム再生をします。その動作をくり返します。
17 PowOnMode **(Power On Mode)** メディアを装着している状態で電源を入れたときの動作の設定をします。	**Play**：電源をオンにすると、自動的にファイルの再生を始めます。 **Rec**：電源をオンにすると、自動的に録音を始めます。 **RecPause**：電源をオンにすると、録音一時停止状態になります。 **Stop**：電源をオンにすると、停止状態になります。
18 KeyCtrl **(Key Control)** 再生ピッチを調節したときの音程の設定をします。	**Off**：再生ピッチに伴って音程が変化します。 **On**：再生ピッチを調節しても音程は変化しません。

設定項目	設定内容
19 Auto Cue オートキュー機能の設定をします。また、ファイルの先頭の無音部分の無音レベルを設定します。	**Off**：オートキュー機能をオフにします。 **-48dB / -42dB / -36dB** オートキュー機能とは、ファイルの先頭の無音部分をスキップして再生が始まるポイントで一時停止をする機能です。 **ご注意** ファイルの先頭の無音部を 20 秒以上経過しても検出できないときは、ファイルの先頭でオートキュー動作をおこないます。
20 Remote1 本機のリモート端子 1 に接続している外部機器のスイッチの制御信号を受けたときの本機の動作を設定します。 リモート端子 1 については、「REMOTE 端子 1」(☞28 ページ) をご覧ください	**StartPaus**：録音中または再生中に、外部機器のスイッチが閉じる(ショート)と、録音または再生を始め、開く(オープン)と録音または再生を一時停止します。 **StrtPseTr**：録音中に、外部機器のスイッチが閉じる(ショート)と録音を開始し、開く(オープン)と録音を一時停止します。また、録音一時停止中に再度スイッチを閉じる(ショート)と新しいファイルにファイルを更新して録音を再開します。 **Mark**：録音中または再生中に、外部機器のスイッチが閉じる(ショート)と、マークを追加します。 **ManualTrk**：録音中に外部機器のスイッチが閉じる(ショート)と、新しいファイルにファイルを更新して録音を続けます。
21 ParaRem (Parallel Remote) パラレルリモート機能の動作モードを設定します。	**Normal**：通常モードに設定します。 **Hot Start**：ホットスタートモードに設定します。 **HotCue**：ホットキューモードに設定します。パラレルリモート、または別売りのリモコン RC-F400S のホットスタートキーを押すと、ホットスタートファイルのキューアップ状態になります。 パラレルリモートについては、「パラレルコントロール」(☞48 ページ) をご覧ください。
22 Keyboard 本機に接続するキーボードの言語タイプを設定します。	**US(English) / UK(English) / FR(France) / GE(German) / IT(Italia) / SP(Spanish) / DU(Nederland) / SW(Swedish) / JP(Japanese)** 日本で販売する製品は、お買い上げ時“JP”に設定しています。
23 Machine ID ファイル名に含まれるマシン ID の名前を設定します。 文字は最大 8 文字まで入力できます。	• 初期設定でのマシン ID は「1」です。最初に録音したファイルは“1001.MP3”になります(MP3 方式で録音した場合)。 • マシン ID を“aaaaa”にした場合、最初に録音したファイルのファイル名は“aaaaa001.MP3”になります。マシン ID が 0 文字の場合は“001.MP3”となります(MP3 方式で録音した場合)。 **ご注意** マシン ID は各プリセットで共通です。変更した場合は、すべてのプリセット番号に反映します。
24 Default (Preset Default) プリセットの設定をプリセットごとに初期化します。	**Yes**：選んだプリセット名とプリセット内容を初期化します。 **No**：初期化しません。

❑プリセット名の変更のしかた

はじめに、メニューの “01 Presets”から名前を変更するプリセット番号を選びます。
次に、“03 Rename”を選んでください。

設定項目	設定内容
03 Rename プリセットの名前を用途に応じて変更することができます。文字は最大 8 文字まで入力できます。	**❑ 文字の入力のしかた** ① **MARK+**、**MARK-** ボタンで文字を挿入する位置にカーソルを合わせる。 ②ジョグダイヤルを回して入力する文字を選ぶ。 ③ジョグダイヤルを押して文字を確定する。 ④手順①から③をくり返して、すべての文字を入力する。 ⑤入力が終わったらジョグダイヤルを押す。 • 入力した文字を保存します。 **❑ 文字の消去のしかた** ① **MARK+**、**MARK-** ボタンで消去する文字の右側にカーソルを合わせる。 ② **PLAY/PAUSE** ボタンを押す。 • カーソルの左側の文字を消去します。 • お買い上げ時は、プリセット名に 8 文字の名前が付いています。プリセット名を変更するときは、文字を削除してから文字を入力してください。 • 次の文字や記号を入力できます。 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z (スペース) ! # $ % & ' ( ) + , - ; = @ [ ] ^ _ ` { } ~ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ¡ ¢ £ ¤ ¥ ¦ § ¨ © ª « ¬ ® ¯ ° ± ² ³ ´ µ ¶ · ¸ ¹ º » ¼ ½ ¾ ¿ À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ð Ñ Ò Ó Ô Õ Ö × Ø Ù Ú Û Ü Ý Þ ß à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ð ÷ ø ù ú û ü ý þ ÿ 上記の下線部 ¡～ÿ の文字はラテン文字です。ラテン文字はディスプレイ表示の設定が“Eng”に設定されている場合は使用できますが、“Jpn”に設定されている場合は使用できません。ディスプレイ表示の設定に関しては、「05 Language」(☞14 ページ) ご覧ください。 • 保存をせずに入力を中止する場合は、保存の前に **MARK** ボタンを押してください。 • これらの文字は USB キーボードからも入力できます。

ディスプレイ表示の設定(Display)

本機のディスプレイ表示に関する設定をおこないます。
ジョグダイヤルを回して“02 Display”を選んでください。

設定項目	設定内容
01 Contrast ディスプレイのコントラストを設定します。	**1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10** 設定値が大きくなるほど明るく表示します。
02 Time Form 現在時刻表示のタイプを設定します。	**12H**：12 時間表示(AM/PM)をします。 **24H**：24 時間表示をします。
03 Date Form 日付の表示順を設定します。	**M/D/Y**：月 / 日 / 年 の順に表示します。 **D/M/Y**：日 / 月 / 年 の順に表示します。
04 File Sort ファイルの並び順のソート方法を選びます。	**Alpha (Alphabet)**：ファイルが記号→数字→アルファベット順に並びます。 **Date**：ファイルが日付順に並びます。
05 Language ファイル名およびフォルダ名の表示言語を選択します。	**Eng**：ファイル名およびフォルダ名を英語で表示します。 **Jpn**：ファイル名およびフォルダ名を日本語で表示します。 設定を変更した場合、本機は設定を読み込むため、一度再起動します。設定を“Eng”にすると、日本語のファイル名 / フォルダ名は正しく表示されません。日本で販売する製品は、お買い上げ時“Jpn”に設定しています。
06 Auto Off 自動電源オフの設定をします。	**Enable**：自動電源オフを有効にします。 **Disable**：自動電源オフを無効にします。 “Auto Off”は、本機を停止したまま 8 時間無操作状態が続くと、自動的にスタンバイ状態になる機能です。 この機能は録音中、再生中またはメニュー画面表示中は無効となります。
07 Default ディスプレイ表示メニューの設定を初期化します。	**Yes**：初期化します。 **No**：初期化しません。

日時の設定(Time/Date)

本機の時計の設定をします。
ジョグダイヤルを回して“03 Time/Date”を選んでください。

設定項目	設定内容
03 Time/Date 本機の内蔵時計の時間を設定します。この時間を、録音したファイルに時間データ(録音開始時間)として記録します。	**01:00 AM**：時間を入力します。 **Jan 01 / 2010**：年月日を入力します。 ❑ **数字の入力のしかた** ① **MARK+**、**MARK-** ボタンで入力する位置にカーソルを合わせる。 ②ジョグダイヤルを回して入力する数字を選ぶ。 ③手順①と②をくり返して、すべての項目に入力する。 ④すべての入力が終わったらジョグダイヤルを押す。 • 設定を保存して、メニュー画面に戻ります。 保存をせずに設定を中止する場合は、保存の前に **MARK** ボタンを押してください。

ユーティリティー機能(Utility)

本機の各種設定データの保存や読み込み、またはメディアのフォーマットをおこないます。
ジョグダイヤルを回して“04 Utility”を選んでください。

設定項目	設定内容
01 Load Settings メディアに保存しているプリセット設定データを読み込み、本機の設定をそのメディアの設定データに変更します。この機能は複数の DN-F650R をお使いになる場合に、すべての DN-F650R を同じプリセット内容に設定するときに便利です。	❑ **操作のしかた** ①ジョグダイヤルを回して“Load Settings” を選び、ジョグダイヤルを押す。 • “Load?” を表示します。 ②ジョグダイヤルを回して “Yes” を選び、ジョグダイヤルを押す。 • プリセット設定データの読み込みを始めます。 • 読み込み中は“Executing･･･”を表示します。 • 読み込みが終了すると“Completed”を表示し、停止状態に戻ります。 メディア内のルートディレクトリにある“DN-F650Rpreset.txt” を読み込みます。
02 Save Settings 現在のすべてのプリセット設定データをメディアに保存します。保存したデータを他の DN-F650R に読み込ませるときは“01 Load Settings”の操作をおこなってください。	❑ **操作のしかた** ①ジョグダイヤルを回して“Save Settings” を選び、ジョグダイヤルを押す。 • “Save?” を表示します。 ②ジョグダイヤルを回して “Yes” を選び、ジョグダイヤルを押す。 • プリセット設定データの保存を始めます。 • 保存が終了すると“Completed”を表示し、停止状態に戻ります。 メディア内のルートディレクトリに“DN-F650Rpreset.txt” のファイル名で保存します。この操作をおこなうと“DN-F650Rpreset.txt” のデータを上書きします。
03 Media Format メディアのフォーマットをおこないます。	❑ **操作のしかた** ① ジョグダイヤルを回して“Media Format” を選び、ジョグダイヤルを押す。 ② ジョグダイヤルを回してフォーマットしたいメディアを選択し、ジョグダイヤルを押す。 • “Format **” を表示します。 “**” にはフォーマットするメディアを表示します。 ③ ジョグダイヤルを回して “Yes” を選び、ジョグダイヤルを押す。 • メディアのフォーマットを始めます。 • フォーマット中は“Executing･･･”を表示します。 • フォーマットが終了すると“Completed” を表示し、停止状態に戻ります。 **ご注意** • SD カードは必ず本機でフォーマットをおこなってからお使いください。パソコンでフォーマットをした場合、録音時に音切れが生じる場合があります。 • USB ドライブに接続したハードディスクをフォーマットする場合、容量によってはフォーマットに数時間要することがあります。

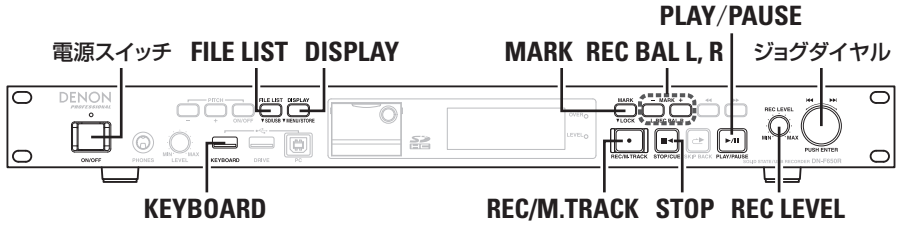
ファームウェアバージョンの確認(F/W Version)

ジョグダイヤルを回して“05 F/W Version”を選んでください。

• 本機の現在のファームウェアのバージョンを表示します。

録音

ここでは録音するファイルを格納するフォルダを指定して録音する方法を説明します。
SD カードへの録音方法と USB ドライブへの録音の方法は同じです。



録音ファイルを格納するフォルダの選びかた

1 **電源スイッチを押す。**
本機の電源がオンになり、電源表示が青色に点灯します。

2 **停止中に FILE LIST を押す。**

3 **フォルダリストを表示する。**
フォルダリストの表示のしかたは、「フォルダメニューの表示のしかた(準備)」(☞25 ページ) をご覧ください。

- メディアを変更したい場合は、ストレージメニューを表示させて、メディアを選んでください。
- ストレージメニューの表示や選択のしかたは、「ストレージメニュー」(☞27ページ)をご覧ください。停止中であれば、**FILE LIST** を長押ししてメディアを切り替えることができます(☞9 ページ「SD/USB メディアの切り替え」)。

4 **ジョグダイヤルを回して録音ファイルを格納するフォルダを選び、ジョグダイヤルを押す。**

- 新しく作ったフォルダに録音したファイルを格納するときは、「フォルダの作成 (2 Make Folder)」(☞26ページ)をご覧ください。

5 **フォルダリストメニューの“01 Select” を選び、ジョグダイヤルを押す。**

- 録音ファイルを格納するフォルダを確定し、そのフォルダのファイルリストを表示します。

6 **FILE LIST を押して元の画面へ戻ります。**

ご注意

SD カードに録音する場合は、あらかじめ本機で SD カードのフォーマットをおこなってください。パソコンでフォーマットをおこなったり、購入時のまま録音をおこなうと、音切れが生じる場合があります。フォーマットの方法は、「03 Media Format」(☞15 ページ) をご覧ください。

録音のしかた

1 **REC/M.TRACK を押して録音一時停止状態にする。**
- **REC/M.TRACK** が赤色に点滅します。
- プリセットメニューの“02 Input” で設定している入力ソースをモニターします。

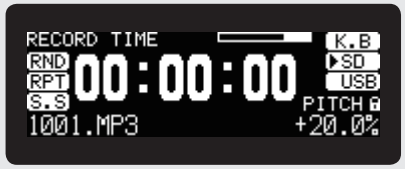
2 **REC LEVEL で録音レベルを調節する。**

- 録音レベルを調節するときは、プリセットメニューの“LevelCont”を“Manual”にしてください。
- レベルメーターやレベルオーバー表示(OVER)を見ながら、ピーク時のレベルが 0dB にならないように調節してください。
- プリセットメニューの“07 LevelCont” を“ALC” に設定しているときや、“02 Input”を“SPDIF”または“AES/EBU”に設定しているときは、録音レベルの調節はできません。

3 **RECBAL L,R で録音バランスを調節する。**

- 録音バランスを調節する場合は、プリセットメニューの“LevelCont”を“Manual”にしてください。
- **RECBAL L** を押すと R(右)の音量が 1dB 下がります。**R** を押すと L(左)の音量が下がります。
- 設定は電源をオフにしても保持します。
- 録音前の調整が終わったら、ソースの再生を止め、録音するソースの最初から再生してください。
- プリセットメニューの“07 LevelCont” を“ALC” に設定しているときや、“02 Input”を“SPDIF”または“AES/EBU”に設定しているときは、録音バランスの調節はできません。

4 **REC/M.TRACK を押して録音を始める。**
REC/M.TRACK が赤色の点灯に切り替わります。



- 録音中にも録音レベル、録音バランスの調節がおこなえます。

メディアの中にフォルダが一つもない場合は、MPGLANG1 というフォルダを自動的に作成し、その中に録音したファイルを格納します。そのファイルを他のフォルダに移動する方法は、「ファイルの移動 (06 Move)」(☞25 ページ) をご覧ください。

❑録音を停止するには

STOP を押す。
- 録音を停止して、**REC/M.TRACK** が消灯します。
- 録音したファイルの情報を表示します。このときに **PLAY/PAUSE** を押すと、今録音をしたファイルを再生できます。
- もう一度 **STOP** を押すと停止状態になり、総ファイル数や総残り時間を表示します。

❑録音を一時的に停止するには

録音中に **PLAY/PAUSE** を押す。
- 録音が一時停止し、**REC/M.TRACK** が赤色の点滅に切り替わります。
- もう一度 **REC/M.TRACK** を押すと、同じファイルに録音を再開します。

プリセットメニューの“10 Auto Mark” を “On” に設定しているときに、録音一時停止の状態から録音を再開すると録音を再開したところにマークが付きます。

❑録音の記録容量についてのご注意

録音に必要な記録容量は、設定している録音方式、録音チャンネル数、サンプリング周波数によって異なります。
録音の途中に容量がなくならないように、録音の前に「録音時間チャート」(☞18 ページ) で録音可能時間を確認してください。各設定内容の確認のしかたは、「ディスプレイの表示について」(☞5 ページ) の録音設定情報表示をご覧ください。

録音中にできること

録音中にファイルを追加する（マニュアルトラック）

マニュアルトラック機能は、録音中の任意の位置でファイルを区切る機能です。録音は新しいファイルに続けておこないます。

録音中に REC/M.TRACK を押す。
押したところでファイルを区切り、新しいファイルに録音を続けます。

ファイルを一定時間で区切ることもできます。プリセットメニューの「09 Auto Track」(☞12 ページ) をご覧ください。

ご注意
- ファイルの容量によっては、ファイルが切り替わるときにわずかな音切れが生じる場合があります。
- 録音しているファイルの容量が 4GB に達すると、自動的に新しいファイルに切り替えて録音を続けます。
- 録音開始から 2 秒以内のマニュアルトラックはおこなうことができません。

マークを追加する（マーキング）

ファイルにマーキング情報を書き込むことにより、再生するときにマークを検索して特定の場所から再生を始めることができます。この方法を使うと、ファイルを分けずに、ファイルの中に特定の検索ポイントを作ることができます。
マークを検索して再生する方法は、「マークを検索する」(☞21 ページ) をご覧ください。

録音中に MARK を押す。
押したところにマークを追加します。

- 一つのファイルには最大 30 個のマークを書き込めます。
- マークは自動的に付けることができます。プリセットメニューの「10 Auto Mark」(☞12 ページ) をご覧ください。
- 付属ソフト “DMP Mark Editor” でマークの編集をおこなえます。詳しくは、付属の CD-ROM の取扱説明書をご覧ください。

カスケード録音について

SD カードへの録音中に SD カードの残り容量がなくなると、自動的に USB ドライブに録音を続ける機能です。

- この機能のオン / オフの設定はありません。USB ドライブを接続しているときにはたらきます。
- SD カードのみに録音をおこなう場合は、USB ドライブを外しておいてください。

ご注意
- USB ドライブを装着していない場合や、USB ドライブの残り容量がない場合は、カスケード録音をおこないません。
- USB ドライブへの録音中はカスケード録音をおこないません。
- SD カードへの録音の前に、残り容量を確認してください。残り容量の表示については、「ディスプレイの表示について」(☞5 ページ) をご覧ください。

録音時間チャート

すべての録音時間はおおよその時間です。各メディアのメーカーや製品により多少の誤差があります。

❑録音時間

ステレオファイル

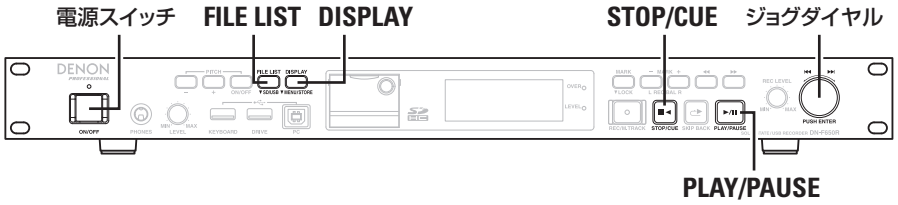
設定	ビットレート	録音可能時間(時：分)					
		1GB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
PCM-24 (96kHz)	4608 kbps	0:30	0:59	1:59	3:57	7:54	15:48
PCM-24 (48kHz)	2304 kbps	0:59	1:59	3:57	7:54	15:48	31:36
PCM-24 (44.1kHz)	2117 kbps	1:04	2:09	4:18	8:36	17:12	34:24
PCM-16 (96kHz)	3072 kbps	0:44	1:29	2:58	5:56	11:51	23:42
PCM-16 (48kHz)	1536 kbps	1:29	2:58	5:56	11:51	23:42	47:24
PCM-16 (44.1kHz)	1411 kbps	1:37	3:13	6:27	12:54	25:48	51:36
MP3-320	320 kbps	7:07	14:13	28:27	56:56	113:47	227:33
MP3-256	256 kbps	8:53	17:47	35:33	71:07	142:13	284:27
MP3-192	192 kbps	11:51	23:42	47:24	94:49	189:38	379:16
MP3-128	128 kbps	17:47	35:33	71:07	142:13	284:27	568:53
MP3-64	64 kbps	35:33	71:07	142:13	284:27	568:53	1136:07

モノラルファイル

設定	ビットレート	録音可能時間(時：分)					
		1GB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
PCM-24 (96kHz)	2304 kbps	0:59	1:59	3:57	7:54	15:48	31:36
PCM-24 (48kHz)	1152 kbps	1:59	3:57	7:54	15:48	31:36	63:13
PCM-24 (44.1kHz)	1058 kbps	2:09	4:18	8:36	17:12	34:24	68:48
PCM-16 (96kHz)	1536 kbps	1:29	2:58	5:56	11:51	23:42	47:24
PCM-16 (48kHz)	768 kbps	2:58	5:56	11:51	23:42	47:24	94:49
PCM-16 (44.1kHz)	705 kbps	3:13	6:27	12:54	25:48	51:36	103:12
MP3-320	160 kbps	14:13	28:27	56:53	113:47	227:33	455:07
MP3-256	128 kbps	17:47	35:33	71:07	142:13	284:27	568:53
MP3-192	96 kbps	23:42	47:24	94:49	189:38	379:16	758:31
MP3-128	64 kbps	35:33	71:07	142:13	284:27	568:53	1137:47
MP3-64	32 kbps	71:07	142:13	284:27	568:53	1137:47	2275:33

録音条件が同じ場合、モノラルファイルの録音時間は、ステレオファイルの録音時間の 2 倍になります。

再生



再生するフォルダの選びかた

1 **電源スイッチを押す。**
本機の電源がオンになり、電源表示が青色に点灯します。

2 **停止中に FILE LIST を押す。**

3 **フォルダリストを表示する。**
フォルダリストの表示のしかたは「フォルダメニューの表示のしかた(準備)」(☞25 ページ) をご覧ください。

- メディアを変更したい場合は、ストレージメニューを表示させて、メディアを選んでください。
- ストレージメニューの表示や選択のしかたは、「ストレージメニュー」(☞27ページ)をご覧ください。停止中であれば、**FILE LIST** を長押ししてメディアを切り替えることができます(☞9 ページ「SD/USB メディアの切り替え」)。

4 **ジョグダイヤルを回して再生したいフォルダを選び、ジョグダイヤルを押す。**

5 **フォルダリストメニューの“01 Select” を選び、ジョグダイヤルを押す。**

- 再生するフォルダを確定し、そのフォルダのファイルリストを表示します。

6 **FILE LIST を押して元の画面へ戻ります。**

再生のしかた

ジョグダイヤルを回して再生したいファイルを選び、PLAY/PAUSE またはジョグダイヤルを押す。

- 再生を始めます。
- **PLAY/PAUSE** が緑色に点灯します。

本機は VBR(Variable Bit Rate)形式のファイルを再生することができます。

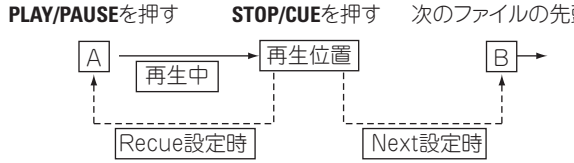
❑再生を停止するには

STOP/CUE を押す。

- 再生を停止して **PLAY/PAUSE** が消灯します。
- プリセットメニュー“15 Finish Mode”で設定している再生開始位置へ移動して停止します。
- もう一度 **STOP/CUE** を押すと停止状態になり、総ファイル数や総残り時間を表示します。
- “15 Finish Mode” の設定で下記のように停止位置が変わります。

Next 設定時 : 再生中に **STOP/CUE** を押すと、次のファイルの先頭(B 点)に移動して停止をします。

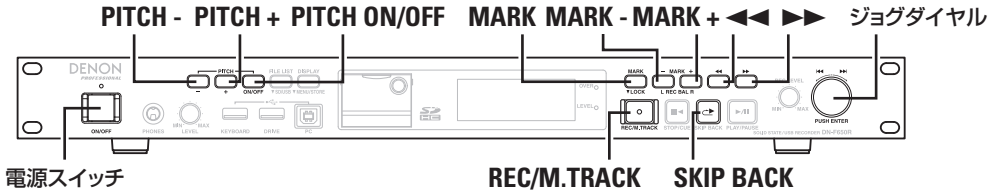
Recue 設定時 : 再生中に **STOP/CUE** を押すと、**PLAY/PAUSE** を押した位置(A 点)に戻って停止をします。



❑再生を一時的に停止するには

再生中に **PLAY/PAUSE** を押す。

- 再生が一時停止し、**PLAY/PAUSE** が緑色の点滅に切り替わります。
- もう一度 **PLAY/PAUSE** を押すと、再生を再開します。



ファイルを切り替える(I◀◀, ▶▶I)

再生中や停止中にジョグダイヤルを回す。

- 時計方向に回すと次のファイルに切り替わります。
- 反時計方向に回すと、現在のファイルの先頭や前のファイルに切り替わります。

早送りや早戻しをする(サーチ)

再生中に ▶▶ または ◀◀ を押す。

- ▶▶ を押すと早送り再生をします。
- ◀◀ を押すと早戻し再生をします。
- 押し続ける時間によって、動作が次のように切り替わります。
  - 0.5 秒以上　2 倍速
  - 4 秒以上　10 倍速
  - 7 秒以上　50 倍速
  - 10 秒以上　100 倍速

- 50 倍速および 100 倍速のときは音声を出力しません。
- 早送りで最後のファイルの終わりまで、早戻しで最初のファイルの先頭までサーチしたときは、一時停止になります。

ご注意

- VBR で記録されたファイルは、サーチできません。
- サーチ途中のファイルに VBR のファイルがある場合は、VBR のファイルでサーチを終了します。

❑早送り、早戻し(サーチ)の終了

サーチ中に ▶▶ または ◀◀ から指を離す。

- 停止中または一時停止中にサーチした場合は、サーチ前の再生位置をくり返し再生します。
  くり返し再生しているときに **PLAY/PAUSE** を押すと、再生開始位置で一時停止します。
- 再生中にサーチした場合は、サーチ終了位置から再生します。
- 一時停止中にサーチした場合は、サーチ終了位置をくり返し再生します。

ご注意

ホットスタート再生開始から 0.2 秒間は、サーチを含むすべてのコマンドを受け付けません。

フレーム単位でジャンプする(フレームジャンプ)

一時停止中に ▶▶ または ◀◀ を 0.5 秒未満押す。

- ▶▶ を押すと順方向に 1 フレーム移動します。
- ◀◀ を押すと逆方向に 1 フレーム移動します。

1 フレームは、1/75 秒です。

一定時間戻って再生する(スキップバック)

再生中または一時停止中に、現在の再生位置から設定している時間だけ戻ります。
時間の設定はプリセットメニューの「13 Skip Back」(☞12 ページ) で設定します。

再生中や一時停止中に SKIP BACK を押す。

設定している時間だけ戻って再生や一時停止をします。

ご注意

VBR で記録されたファイルは、サーチできません。

再生のピッチを調節する（ピッチコントロール）

再生速度を -40% から +20% の範囲で調節できます。
ピッチを調節することにより、会話の録音を短時間で聞いたり、聞き取りにくい部分をゆっくりと聞くことができます。

1 **停止中や再生中に PITCH ON/OFF を押す。**
ピッチコントロール表示を表示し、ピッチの調節が有効になります。

2 **PITCH + または PITCH – を押す。**

- 1 回押すごとにピッチが 0.1% 変化します。
- 長押しすると連続的に変化します。
- ピッチコントロールを解除するには、もう一度 **PITCH ON/OFF** を押します。

❑音程を変えずにピッチを変えるには（キーコントロール）

ピッチコントロールで再生速度を調節すると、再生速度に伴って音程が変わります。キーコントロール機能をオンにすると、ピッチを調節しても再生音の音程を変えずに再生できます。

- キーコントロールの設定は、プリセットメニューの「18 KeyCtrl」（☞12 ページ）でおこないます。
- メニューの“18 KeyCtrl” を“On” に設定すると、ピッチを調節したときにディスプレイにキーコントロールマークを表示します。

キーコントロールマーク

マークを追加する（マーキング）

ファイルにマーキング情報を書き込むことにより、マークを検索して特定の場所から再生を始めることができます。

再生中や一時停止中に MARK を押す。
押したところにマークを追加します。

- 一つのファイルには最大 30 個のマークを書き込めます。
- 付属ソフト“DMP Mark Editor” でマークの編集をおこなえます。詳しくは、付属の CD-ROM の“DMP Mark Editor” の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機で録音されていない MP3 ファイルにはマークを追加することができません。
- ファイルが VBR で記録されている場合、マークを追加することはできません。

マークを検索する

停止中または再生中に MARK + または MARK – を押す。

- **MARK +** を押すと、次のマーク位置に進み一時停止をします。
- **MARK –** を押すと、前のマーク位置に戻り一時停止をします。

ファイルを分割する

録音したファイルを指定した位置で分割することができます。

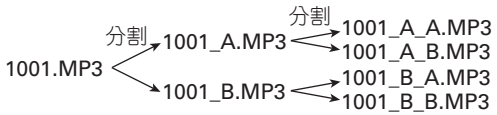
1 **ファイルのサーチをおこない、分割したい位置で再生一時停止をして REC/M.TRACK を押す。**
ディスプレイに“Divide?” を表示します。

- ファイルを分割しない場合は、ジョグダイヤルを回して“No” を選び、ジョグダイヤルを押します。

2 **ジョグダイヤルを回して“Yes” を選び、ジョグダイヤルを押す。**
“Executing…” を表示し、ファイルを分割します。

- ファイル分割が終了すると“Completed” を表示し、分割した二つ目のファイルの先頭で停止します。

- 分割した一つ目のファイル名の末尾に“_A” が付き、分割した二つ目のファイル名の末尾に“_B” が付きます。
例：1001.MP3 というファイルを分割した場合



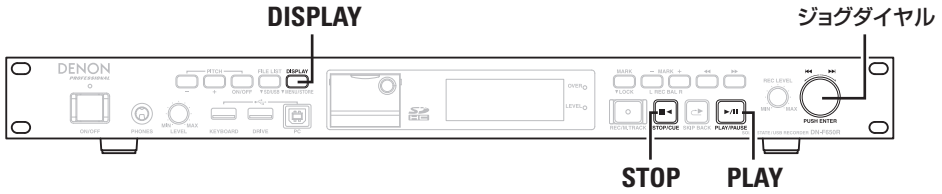
分割しても元のオリジナルファイルは消去されません。上記の場合、計 7 個のファイルができます。

- 再生中に **REC/M.TRACK** を押してもファイルを分割することができます。

ご注意

- ファイル名の文字数が 253 文字以上のファイルの分割はできません。
その場合はディスプレイに“Long Title” を表示します。ファイルの名前を付け直してから分割してください。
- VBR のファイルは分割できません。

好きな順に再生する(プログラム再生)



- 選択中のフォルダに拡張子が“m3u”(プレイリストファイル)のファイルがあるときは、そのファイルに記述された順にプログラム再生します。
- プレイリストファイルが無い場合は、自動的に m3u ファイルを作成し、プログラム再生することができます。
- m3u ファイルに記録されていないファイルがある場合は、プレイリストにそのファイルを表示しません。

❑プログラム再生を始める

1 **ファイルリストを表示中に、DISPLAY を押す。**
プレイリストを表示します。

- プレイリストが存在しない場合、“Make Playlist?” のダイアログを表示します。
- ジョグダイヤルを回して“Yes”を選択すると、現在の再生順序のプレイリストを作成します。
- “No” を選択すると、プレイリストを作成せずファイルリストに戻ります。

2 **再生順序を変更したいファイルを選び、ジョグダイヤルを押す。**
- 変更するファイルを確定し、プレイリストメニューを表示します。

3 **ジョグダイアルを回して“Move”を選択する。**
“Move”を選択すると、ファイルリストに戻ります。

4 **ジョグダイヤルを回して、ファイルを挿入したい場所にカーソルを移動し、ジョグダイヤルを押す。**
カーソル上に、手順 2 で選択したファイルを移動し、プレイリストに戻ります。
- 続けて再生順序を変更する場合は手順 2 から 4 をくり返します。

5 **STOP を押す。**
プレイリスト表示を終了します。

6 **PLAY を押す。**
設定した順序でファイルを再生します。

- プログラム再生は 255 曲までプログラムできます。
- フォルダ内に複数のプレイリストがあった場合は、一番先頭にあるプレイリストが有効になります。

❑プログラム再生をキャンセルする

1 **ファイルリストを表示中に、DISPLAY を押す。**

2 **プレイリスト表示中にジョグダイヤルを押して、プレイリストメニューを表示させる。**

3 **ジョグダイアルを回して“Del Playlist” を選び、ジョグダイヤルを押す。**

4 **ジョグダイヤルを回して、“Yes”を選択する。**
プレイリストファイル(m3u ファイル)を削除し、ファイルリスト表示に戻ります。

プレイリストにファイルを追加するには、一度プレイリストを削除して改めて作成し直してください。

USB モード(本機とパソコンの接続)

本機の PC 用 USB ポートとパソコンを付属の USB ケーブルで接続すると、次のことがおこなえます。
- 本機の SD カードに記録しているデータを、パソコンに転送してパソコン上で再生やコピーなどがおこなえます。
- パソコンに保存している MP3 や WAV ファイルを本機の SD カードに転送できます。

パソコンとの接続

- 本機と接続するパソコンには、次のオペレーティングシステム(OS)を使っているパソコンが必要です。
  WindowsXP、WindowsVista、Windows7、MacOS X
- 本機とパソコンを接続すると、パソコンは本機に装着している SD カードを、リムーバブルディスクとして認識します。

1 パソコンの電源を入れる。

- パソコンの操作については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 本機の電源スイッチを押す。

本機の電源がオンになります。

3 本機に SD カードを装着する。

- SD カードの装着については、「メディアの装着について」(☞8 ページ)をご覧ください。

4 本機が停止中に本機の PC 用 USB ポートとパソコンを付属の USB ケーブルで接続する。

- 接続が完了すると、本機のディスプレイに次の表示をします。

- パソコンは本機に装着している SD カードをリムーバブルディスクとして認識します。

5 USB ケーブルを外す。

- 作業が終わったら USB ケーブルを外してください。USB モードが解除され、停止画面に戻ります。

ご注意

- 本機とパソコンを接続しているときは、本機に装着しているメディアを取り外さないでください。メディアに記録しているデータが壊れ、メディアが損傷することがあります。
- USB ドライブは USB モードで操作できません。
- USB ドライブにストレージを装着している場合は USB モードはご利用になれません。

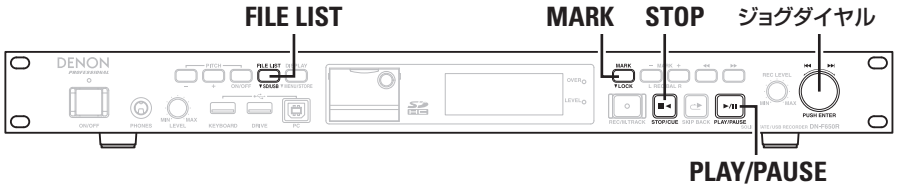
❑DMP Mark Editor について

付属の Windows アプリケーション「DMP Mark Editor」を使用することにより、パソコン上で本機のストレージに記録しているファイルやマークの編集がおこなえます。

【主な機能】
- ファイルの再生、コピー、分割、結合、消去
- マークの移動、追加、削除

- DMP Mark Editor のインストール方法、使い方については、付属の CD-ROM に収録している DMP MarK Editor の取扱説明書をご覧ください。

ファイルやフォルダの設定



ファイルメニュー

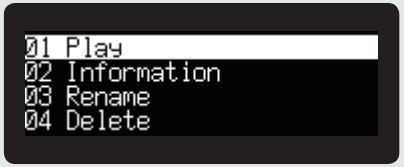
ファイルの管理操作をおこないます。ファイル情報の確認をしたり、ファイル名の変更、ファイルの消去、コピー、移動などができます。

❑ファイルメニューの表示のしかた（準備）

1 **停止中に FILE LIST を押す。**
ファイルリストを表示します。

- ファイルリストの表示中に **PLAY/PAUSE** を押すと、選択しているファイルを再生します。
- フォルダリストを表示するには、一番上に表示しているフォルダ名を選び、ジョグダイヤルを押します。

2 **ジョグダイヤルを回して操作をおこなうファイルを選び、ジョグダイヤルを押す。**
ファイルメニューを表示します。



- ファイルメニューの表示中に **STOP** を押すと、停止状態に戻ります。

❑ファイルメニューの一覧

表示	説明
01 Play	ファイルを再生します。
02 Information	ファイル情報を表示します。
03 Rename	ファイル名を変更します。
04 Delete	ファイルを消去します。
05 Copy	別のフォルダにファイルをコピーします。
06 Move	現在のフォルダから別のフォルダにファイルを移動します。
07 Delete Mark	選んだファイルからすべてのマークを削除します。

ファイルの再生（01 Play）

選んでいるファイルを再生します。

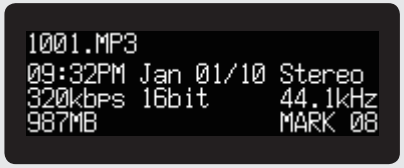
ジョグダイヤルを回して“01 Play”を選び、ジョグダイヤルを押す。

- **STOP** を押すとファイルリストに戻ります。

ファイル情報（02 Information）

選んでいるファイルの情報を表示します。

ジョグダイヤルを回して“02 Information”を選び、ジョグダイヤルを押す。
ファイル情報を表示します。

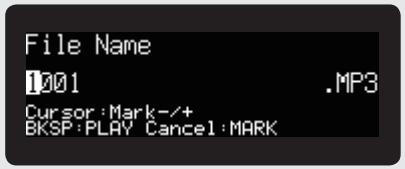


- ファイルメニューに戻るには、ジョグダイヤルを押します。
- **STOP** を押すと停止状態に戻ります。

ファイル名の変更（03 Rename）

選んでいるファイルの名前を変更します。

1 **ジョグダイヤルを回して“03 Rename”を選び、ジョグダイヤルを押す。**
名称変更メニューを表示します。



2 **ファイル名を変更する。**

- ファイル名の変更のしかたは、「プリセット名の変更のしかた」（☞13 ページ）と同じです。

3 **ジョグダイヤルを押して変更を保存する。**

- 変更を保存せずに前の画面に戻るには、**MARK** を押します。

- ファイル名の最初または最後の文字にスペースを入力すると、そのスペースを削除してファイル名を保存します。
- 文字数が 255 文字に達すると、文字の追加ができなくなります。

ファイルの消去（04 Delete）

選んでいるファイルを消去します。

ジョグダイヤルを回して“04 Delete”を選び、ジョグダイヤルを押す。
“Delete?”を表示します。
- “Yes”を選んでジョグダイヤルを押すと、ファイルを消去します。
- “No”を選んでジョグダイヤルを押すと、ファイルメニューに戻ります。
- **STOP** を押すと停止状態に戻ります。

ファイルのコピー（05 Copy）

選んでいるファイルを別のフォルダにコピーします。

1 ジョグダイヤルを回して“05 Copy”をび、ジョグダイヤルを押す。
フォルダー一覧を表示します。

2 ジョグダイヤルを回してコピー先のフォルダを選び、ジョグダイヤルを押す。
- コピーを開始します。
- コピー中は、“Executing”を表示します。

- **STOP** を押すと停止状態に戻ります。

別のメディアへファイルをコピーすることもできます。

ファイルの移動（06 Move）

選んでいるファイルを別のフォルダに移動します。

1 ジョグダイヤルを回して“06 Move”を選び、ジョグダイヤルを押す。
フォルダー一覧を表示します。

2 ジョグダイヤルを回して移動先のフォルダを選び、ジョグダイヤルを押す。
- 移動を開始します。
- 移動中は、“Executing”を表示します。

- **STOP** を押すと停止状態に戻ります。

別のメディアへファイルを移動することもできます。

マークの削除（07 Delete Mark）

選んでいるファイルに書き込んでいるすべてのマークを削除します。

ジョグダイヤルを回して“07 Delete Mark”を選び、ジョグダイヤルを押す。
“Delete Mark?”を表示します。
- “Yes”を選んでジョグダイヤルを押すと、マークを削除します。
- “No”を選んでジョグダイヤルを押すと、ファイルメニューに戻ります。
- **STOP** を押すと停止状態に戻ります。

フォルダメニュー

フォルダの管理操作をおこないます。選んだフォルダを現在のディレクトリにしたり、フォルダ名の変更、フォルダの消去、新しいフォルダの作成ができます。

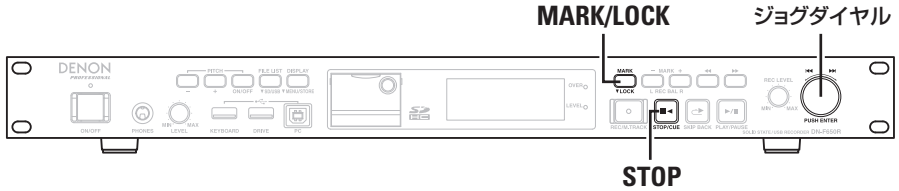
❑フォルダメニューの表示のしかた（準備）

1 FILE LIST ボタンを押してファイルリストを表示させてから、リストの一番上のフォルダ名を選び、ジョグダイヤルを押す。
フォルダリストを表示します。

2 ジョグダイヤルを回して操作をおこなうフォルダを選び、ジョグダイヤルを押す。
フォルダメニューを表示します。

- フォルダリストの表示中に **STOP** を押すと、停止状態に戻ります。

ご注意
- メディアのルートディレクトリの直下にあるフォルダのみを認識します。ルートディレクトリ直下にあるファイルは認識しません。
- 認識できるフォルダ数は最大 32 個です。それ以降のフォルダは認識しません。



❑フォルダメニューの一覧

表示	説明
1 Select	録音や再生をおこなうフォルダを選びます。
2 Make Folder	新しいフォルダを作ります。
3 Rename	フォルダ名を変更します。
4 Delete	フォルダを消去します。

フォルダの選択（1 Select）

このフォルダの中に録音ファイルを作るときや、このフォルダの中のファイルを再生するときに選びます。

ジョグダイヤルを回して“1 Select”を選び、ジョグダイヤルを押す。
このフォルダのファイルリストを表示します。

フォルダの作成（2 Make Folder）

新しいフォルダをつくります。

ジョグダイヤルを回して“2 Make Folder”を選び、ジョグダイヤルを押す。
フォルダリストに“NewFolder”という名前のフォルダを追加します。

- すでにフォルダリストに“NewFolder”がある場合は、“Already Exists”を表示します。フォルダリストにある“NewFolder”の名前を変更してから、新しいフォルダを作成してください。
- フォルダは最大 32 個まで作ることができます。すでに 32 個のフォルダがある場合は、“Full Folder”を表示します。不要なフォルダの消去などをおこなってから、新しいフォルダを作成してください。

フォルダ名の変更（3 Rename）

1 ジョグダイヤルを回して“3 Rename”を選び、ジョグダイヤルを押す。
名称変更メニューを表示します。

2 フォルダ名を変更する。

- フォルダ名の変更のしかたは、「プリセット名の変更のしかた」（☞13 ページ）と同じです。

3 ジョグダイヤルを押して変更を保存する。

- フォルダリスト表示に戻ります。
- 変更を保存せずに前の画面に戻るには、**MARK** を押します。

- フォルダ名の最後の文字にスペースを入力した場合、変更した名前にはスペースが入りません。
- 文字数が 255 文字に達すると、文字の追加ができなくなります。

フォルダの消去（4 Delete）

フォルダを消去します。

ジョグダイヤルを回して“4 Delete”を選び、ジョグダイヤルを押す。
“Delete?”を表示します。

- “Yes”を選んでジョグダイヤルを押すと、フォルダを消去します。
- “No”を選んでジョグダイヤルを押すと、フォルダメニューに戻ります。
- **STOP** を押すと停止状態に戻ります。

メディアにフォルダが一つしかない場合、そのフォルダを消去することはできません。そのフォルダの消去の操作をおこなうと、“Can not…”を表示します。

ストレージメニュー

このメニューから録音、再生または編集をおこなうメディアを選びます。

1 フォルダリストの一番上に表示しているストレージ名を選び、ジョグダイヤルを押す。
ストレージリストを表示します。

- 本機にストレージ(メディア)を装着していない場合は表示の横に“(NONE)”を表示します。

2 ジョグダイヤルを使って操作したいメディアを選び、ジョグダイヤルを押す。
選んだメディアのフォルダリストを表示します。

- 本機が停止中であれば、**FILE LIST** を 1 秒以上長押しして、メディアを瞬時に切り替えることができます。
詳しくは、「SD/USB メディアの切り替え」(☞9 ページ)をご覧ください。

その他の機能

操作ボタンをロックする(キーロック)

MARK/LOCK を 1 秒以上長押しすると、キーロックが設定され、すべてのボタンの操作ができなくなります。

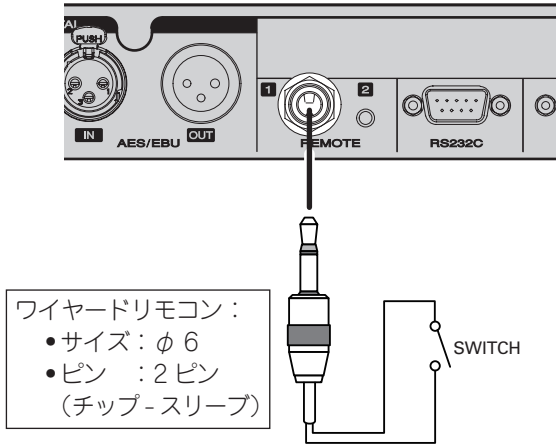
- キーロック中に操作ボタンを押すと、“Key Locked”を表示します。

再び、**MARK/LOCK** を 1 秒以上長押しすると、キーロックモードを解除します。

コントロール機能

REMOTE 端子 1

フットペダルなど開閉式のワイヤードリモートスイッチを REMOTE（入力）端子 1 に接続すると、プリセットメニューの “20 Remote1” の設定に応じて次の操作ができます。



❑Start Pause(StartPaus)

録音 / 再生中、録音 / 再生一時停止中に、ワイヤードリモートスイッチがショート（閉）状態のときは動作を開始し、オープン（開）状態のときは動作を一時停止します。

❑Start Pause Track(StrtPseTr)

録音中、録音一時停止中に、ワイヤードリモートスイッチがショート（閉）状態のときは動作を開始し、オープン（開）状態のときは動作を一時停止します。
また録音一時停止後に、再度スイッチをショート（閉）状態にすると、新しいファイルに録音を始めます。

❑Mark

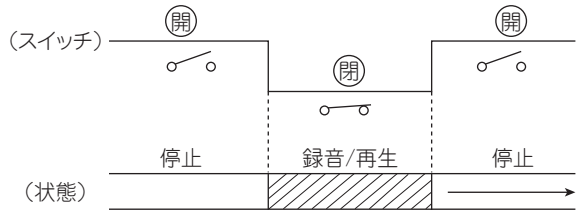
録音 / 再生中、録音 / 再生一時停止中にワイヤードリモートスイッチがショート（閉）状態になると、マークを追加します。

❑Manual Track(ManualTrk)

録音、録音一時停止中に、ワイヤードリモートスイッチがショート（閉）状態になると、ファイルを新しく追加します。

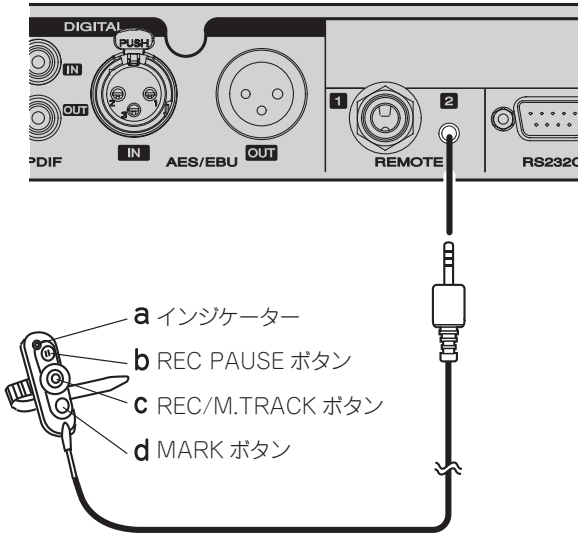
	Start Pause（録音、再生時）	StartPause Trk（録音時のみ）	Mark（録音、再生時）	Manual Track（録音時のみ）
開 → 閉	開始	開始	マークの追加	新規ファイルの作成
閉 → 開	一時停止	次のファイルで一時停止	---	---

例：Start Pause の場合



REMOTE 端子 2

本機では別売のマイクリモート RC600PMD を使用できます。RC600PMD（別売り）はマイクに取り付けて使うインタビュー用リモートです。
RC600PMD は、1.5m コードに 4 端子ミニプラグが付いています。RC600PMD を使用するときは、メニューでの設定は必要ありません。



❑RC600PMD

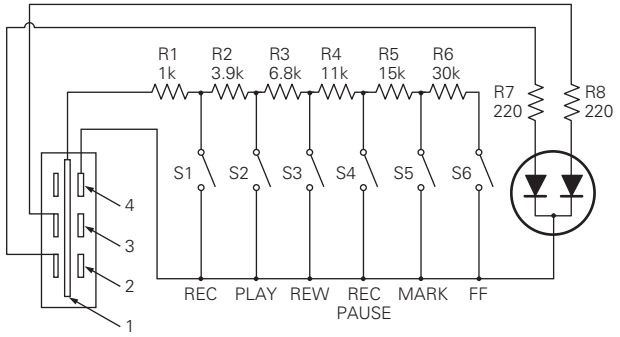
a インジケータ
- •スタンバイまたは停止状態のときは、緑色に点灯
- •録音中は赤色に点灯
- •録音一時停止中は赤色に点滅
- •録音または録音一時停止中にピークレベルを超える信号が入力すると、オレンジ色に点滅してから赤の点灯に戻ります。

b このボタンを押すと、録音を一時停止します。
c このボタンを押すと、録音を開始 / 再開します。また手動でファイルを新しく追加します。（マニュアルトラック）
d このボタンを押すと、録音中または再生中にマークを追加します。

❑REMOTE 端子 2 の機能拡張

下図の回路を組んだリモート装置を使用すると、リモートコントロール機能として再生(PLAY)、早送り(FF)、早戻し(REW)などの操作ができます。これにより、ディクテーションやテープ起こしなど、音声から文字、テキストを起こす作業がスムーズにおこなえます。

回路図

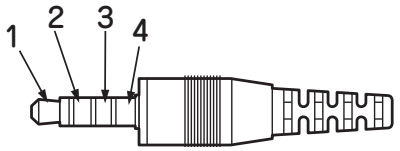


- PLAY スイッチを閉じている間は再生し、開けると同時にプリセット“13 Skip Back”の設定時間分だけ戻り、一時停止状態になります。FF スイッチ、REW スイッチも閉じている間はそれぞれ早送り、早戻しをし、開くと停止をします。
- 抵抗誤差：5% 以内
- 外部電圧は加えないでください。誤動作が起きる場合があります。
- 直接回路に接触しないように、回路は絶縁してください。 静電気は誤動作の原因となりますので、回路を静電気から保護する構造にしてください。
- 本機の操作と同時に回路のスイッチを操作しないでください。
- 本回路の使用による、いかなる損害あるいは特許ならびにその他の権利の侵害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本内容は、当社または第三者の特許またはその他の権利を認めるものではありません。
- 本回路図の一部または全体を転載あるいは複製することは、厳重に禁じられています。

❑プラグタイプ(1/8” T-R-R-S ミニプラグ)

ø3.5/4P (TMP-B66)

1: チップ
2: リング
3: リング
4: スリーブ(接地)



USB キーボード

本機のキーボード用 USB ポートに USB キーボードを接続すると、キーボードから本機の操作ができます。

キーボードのキー	本機の操作ボタン
矢印(上下左右)	ジョグダイヤル(回す)
Enter	ジョグダイヤル(押す)
アルファベットキー	ファイル / プリセット名称変更時の文字
F1	DISPLAY ボタン
F2	FILE LIST ボタン
F3	PITCH - ボタン
F4	PITCH + ボタン
F5	LOCK ボタン
F6	(空き)
F7	(空き)
F8	MARK - ボタン
F9	MARK + ボタン
F10	MARK ボタン
F11	REC/M.TRACK ボタン
F12	MENU/STORE ボタン
ESC	STOP ボタン / 保存せずにメニュー画面を終了
SPACE	PLAY/PAUSE ボタン
BACK SPACE	(再生時)SKIP BACK ボタン (Menu/File list 表示)前の画面に戻る
SHIFT+F1	ファイル情報の表示
SHIFT+F2	ファイル名の変更
SHIFT+F3	ファイルの消去
SHIFT+F4	ファイルのコピー
SHIFT+F5	ファイルの移動
SHIFT+F6	マークの削除

ご注意

- 本製品は USB 規格に沿ったキーボードのみ使用可能となります。
- USB キーボードはあらかじめプリセットメニュー“22 Keyboard”(☞13ページ)にて言語タイプの設定をおこなってからご使用ください。
- ファイルメニュー(SHIFT+F1～F6)に関しては、ファイルを選択している下記の画面で有効になります。

RC-F400S を使ったいろいろな再生

別売りのリモコン RC-F400S を使って、ホットスタート再生をすることができます。

RC-F400S の特長

- ジョグダイヤルを使った軽快なファイルサーチ
- 3.8 インチ大型ディスプレイ（320X240 ドット）
- 据え置き型トップパネル操作

RC-F400S でおこなうことができるのは、再生操作のみで、録音操作や各種メニューモード（メニュー一覧 / ファイルリスト / ファイルメニュー）の設定はおこなうことができません。各種メニューモードの設定中、RC-F400S のディスプレイには“wait...”を表示します。

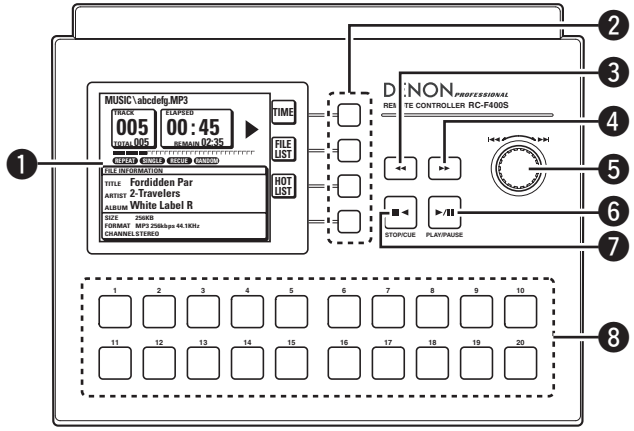
ご注意

RC-F400S のファームウェアのバージョンが A-2.00 より前のバージョンであった場合、また、DN-F650R のファームウェアのバージョンが A-3.00 より前のバージョンであった場合、DN-F650R で正常に動作しない可能性があります。お使いの RC-F400S のバージョンが A-2.00 より前である場合、また、DN-F650R のバージョンが A-3.00 より前である場合は、当社ホームページ（URL:http://www.dm-pro.jp）に記載しているお近くの修理相談窓口へお問い合わせの上、バージョンアップをおこなってください。

RC-F400S のバージョン情報は電源スイッチをオンにしたときに表示されるスタートアップ画面の下に表示されます。

各部の名称とはたらき

❑RC-F400S トップパネル



❶ディスプレイ……(31)

❷ファンクションボタン……(31)
ファンクション表示に対応します。

❸早戻しボタン（◀◀）……(33)

❹早送りボタン（▶▶）……(33)

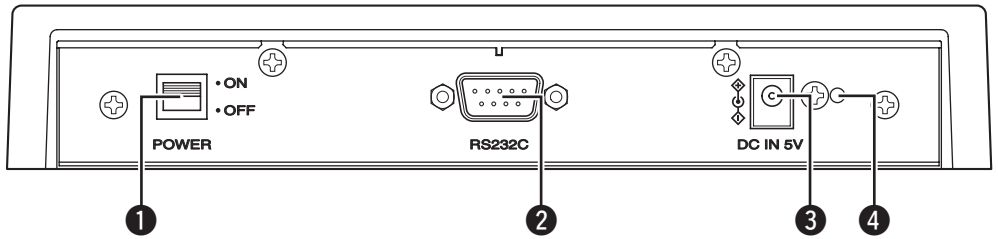
❺ジョグダイヤル（I◀◀/▶▶I）……(34)
- ジョグダイヤルを回すとフォルダやファイルのサーチをおこないます。
- ジョグダイヤルを押すと、選択しているファイルの再生をおこないます。

❻再生、一時停止ボタン（PLAY/PAUSE）……(33)
再生中は緑色に点灯し、一時停止中は緑色に点滅します。

❼停止、キューボタン（STOP/CUE）……(33)
停止中またはキュー動作中は橙色に点灯します。

❽ホットスタートボタン1-20……(33)
ホットスタートリストに対応します。

❑RC-F400S リアパネル



❶電源スイッチ……(32)

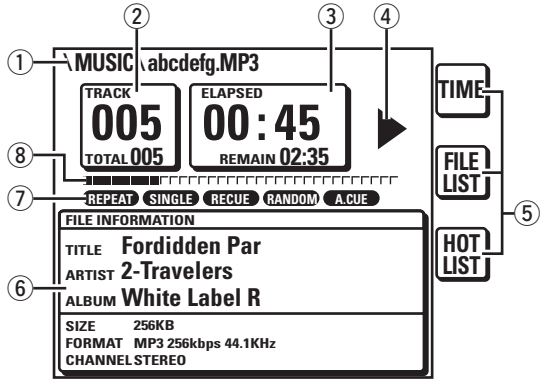
❷RS-232C端子……(32)

❸DC電源入力端子……(32)
付属の電源コードを接続します。

❹DC電源コードホルダー取り付け穴
付属の電源コードホルダーを取り付けて接続した電源コードが端子から抜けるのを防止します。

❑RC-F400S ディスプレイの表示について

メイン画面表示



① ファイル名表示

② ファイル番号/総ファイル数表示

③ 時間表示

- 再生経過時間または再生残り時間を表示します。
- ファンクションボタンの TIME を押すと、再生経過時間と再生残り時間の表示を切り替えます。
- 再生ファイルが 100 分以上のときは、“99：59” を表示します。

④ 動作状態表示

►：再生；❚❚：一時停止；■◄：停止※ 1；
►►：早送り；◄◄：早戻し；
●：録音；●❚❚：録音一時停止；■：停止※ 2

※ 1：DN-F650R のプリセットメニュー“15 Finish Mode”で設定している再生開始位置へ移動して停止
※ 2：フォルダにあるファイルの一番先頭に移動して停止

⑤ ファンクション表示

- TIME：ファンクションボタンを押して時間表示を切り替えます。
- FILE LIST：ファンクションボタンを押してファイルをファイルリストモードで再生します（「ファイルリスト表示」（☞31 ページ））。
- HOT LIST：ファンクションボタンを押してホットスタートリストの確認をすることができます（「ホットスタートリスト表示」（☞32 ページ））。

⑥ ファイル情報表示

ファイルの情報を表示します。情報がないときはブランク表示になります。

- TITLE：ファイルのタイトル名を表示します。
- ARTIST：ファイルのアーティスト名を表示します。
- ALBUM：ファイルのアルバム名を表示します。
- SIZE：ファイルサイズを表示します。
- FORMAT：MP3/WAV を表示します。（MP3 の場合は続けてビットレートを kbps で表示）
- CHANNEL：STEREO/MONO を表示します。

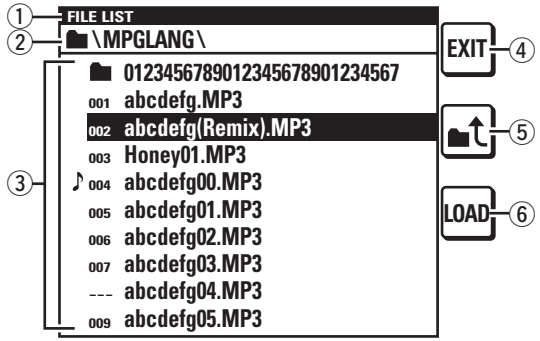
⑦ 設定中の再生モード表示

DN-F650R で現在設定している再生モードを表示します。

- REPEAT：プリセットメニュー“16 Repeat” が ON のときに表示します。（☞12 ページ）
- SINGLE：プリセットメニュー“14 Play Mode” が Single のときに表示します。（☞12 ページ）
- RECUE：プリセットメニュー“15 Finish Mode” が Recue のときに表示します。（☞12 ページ）
- RANDOM：プリセットメニュー“14 Play Mode” が Random のときに表示します。（☞12 ページ）
- A.CUE：プリセットメニュー“19 Auto Cue” の機能が設定されているときに表示します。（☞13 ページ）

⑧ 再生経過位置表示

ファイルリスト表示



① タイトル表示

“FILE LIST”を表示します。

② フォルダ表示

フォルダ名を表示します。
フォルダ名は最大 256 文字まで表示します。

③ ファイルリスト

ファイル名を表示します。
再生中のファイルは♪マークを表示します。

④ EXITボタン

メインモードへ移動します。

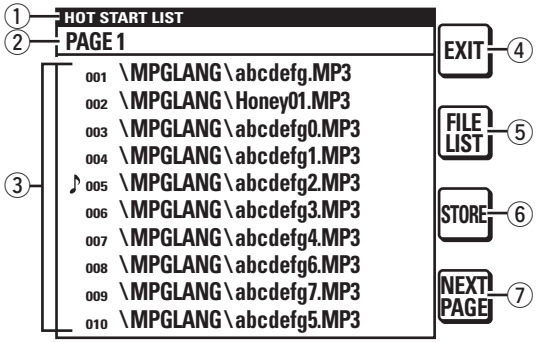
⑤ ボタン

選択しているメディア内にあるフォルダリストを表示します。

⑥ LOADボタン

選択したファイルを 1～20 のいずれかのホットスタートに設定します。

ホットスタートリスト表示



① **タイトル表示**
“HOT START LIST”を表示します。

② **PAGE表示**
ページを表示します。

③ **ホットスタートリスト**
設定したファイル名を表示します。
再生中のファイルは♪マークを表示します。

④ **EXITボタン**
メインモードへ移動します。

⑤ **FILE LISTボタン**
ファイルリストへ移動します。

⑥ **STOREボタン**
設定したホットスタートリストをファイルに保存します。
ファイルは“DN-F650R.ppl” というファイル名でルートディレクトリに保存します。

⑦ **NEXT PAGE or PREV PAGE**
次ページまたは前ページのリストを表示します。

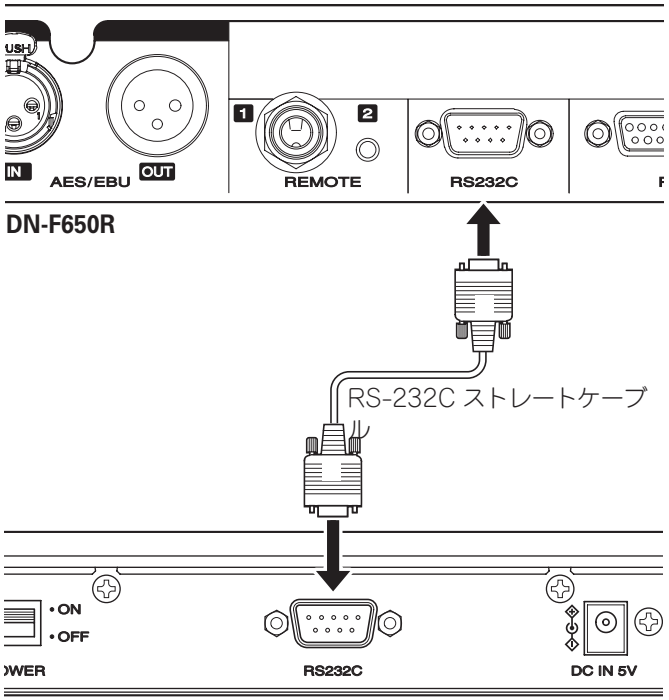
接続のしかた

下図のように、DN-F650R の RS-232C ポートと RC-F400S の RS-232C ポートを、RC-F400S に付属のストレートケーブルを使って接続してください。

- 接続をおこなった後に、それぞれの機器の電源スイッチをオンにしてください。
- 接続後はケーブル端子のねじを回して固定しください。

AC アダプター接続のご注意

- 必ず電源スイッチをオフにしてから、AC アダプターの抜き差しをおこなってください。
- ぬれた手で AC アダプターに触らないでください。
- AC アダプターを抜くときはプラグを持っていることを確認します。コードを引っ張ったり曲げたりするとコードが損傷したり、感電や火事の原因になることがあります。



ホットスタート再生

RC-F400S の 1～20 のホットスタートボタンに登録しているファイルは、そのボタンを押すことにより瞬時に再生を開始することができます。

❑ホットスタートポイントの自動割り当て

DN-F650R で選択をしているメディアの先頭フォルダにあるファイルをホットスタートボタン 1～20 に自動で割り当てます。

- 一番先頭のファイルから 20 番目のファイルまでが登録されます。それ以降のファイルは登録されません。
- フォルダ内のファイル数が 20 個に満たない場合は、そのファイル数まで登録されます。

ご注意

メディアを切り替えた場合は自動的にその切り替えたメディアの先頭フォルダ内のファイルを割り当て直します。

❑作成したホットスタートリストからの割り当て

ホットスタートリストを保存したファイル“DN-F650R.ppl”がメディアのルートディレクトリにある場合、そのホットスタートリストを割り当てます。

- ホットスタートリストの保存については「ホットスタートリストの保存のしかた」(☞34 ページ) をご覧ください。

ご注意

- メディアを切り替えた場合は自動的にその切り替えたメディアのホットスタートリスト“DN-F650R.ppl” を割り当てます。ホットスタートリストがない場合は先頭フォルダ内のファイルを割り当てます。
- 本機の“Parallel Remote” の設定が“HotCue” のときに、別売りのリモコン RC-F400S のホットスタートボタンを押すと、ホットスタートファイルのキューアップ状態になります。

❑ホットスタート再生のしかた

1 **DN-F650R、RC-F400S を接続したあと、各々の機器の電源スイッチをオンにする。**
- RC-F400S のディスプレイにスタートアップ画面「DENON PROFESSIONAL」を表示します。
- 起動が完了すると、ディスプレイにファイル情報を表示します。

2 **メイン画面上で HOT LIST を押す。**
1～10 までのホットスタートリストが表示されます。
11～20 までのホットスタートリストを表示したい場合は **NEXT PAGE** を押してください。

3 **再生したいホットスタートボタンを押す。**
ホットスタート再生をおこないます。

ホットスタートはメイン画面とファイルリスト画面上からもおこなえます。

❑一時停止のしかた

再生中に ►/II を押す。
- 一時停止中は ►/II が点滅します。
- 再生を再開したいときは ►/II を押します。

❑停止のしかた

■◄ を押す。

❑早送りや早戻しをする(サーチ)

再生中に ►► または ◄◄ を押す。
- ►► を押すと早送り再生をします。
- ◄◄ を押すと早戻し再生をします。
- 押し続ける時間によって、動作が次のように切り替わります。
  - 0.5 秒以上　2 倍速
  - 4 秒以上　10 倍速
  - 7 秒以上　50 倍速
  - 10 秒以上　100 倍速

❑早送り、早戻し(サーチ)の終了

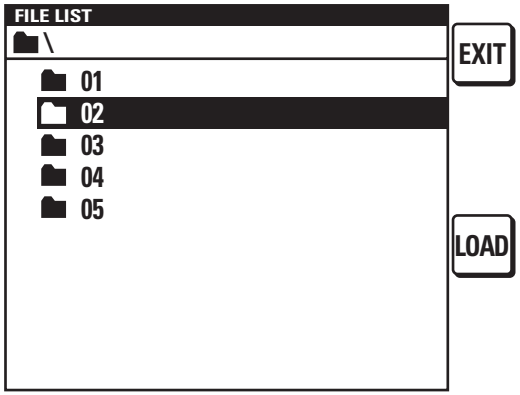
◄◄ または ►► を離す。
- 再生中にサーチした場合は、サーチ終了位置から再生します。
- 一時停止中にサーチした場合は、サーチ終了位置をくり返し再生します。
- ホットスタート再生開始から、0.2 秒間は、サーチを含むすべてのコマンドを受け付けません。

❑フレーム単位でジャンプする(フレームジャンプ)

一時停止中に ►► または ◄◄ を 0.5 秒未満押す。
- ►► を押すと順方向に 1 フレーム移動します。
- ◄◄ を押すと逆方向に 1 フレーム移動します。

❑ホットスタートフォルダ設定および割り当てのしかた

選択したフォルダ内の先頭から 20 ファイルを自動でホットスタートボタンに割り当てます。



1 **メイン画面上で FILE LIST を押す。**
ファイルリストを表示します。

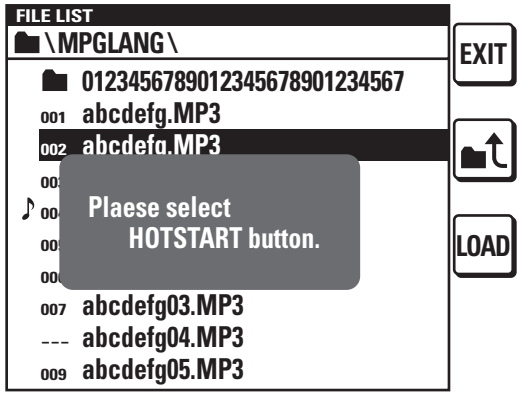
2 **設定したいフォルダを I◄◄/►►I ジョグダイヤルで選択する。**

3 **LOAD を押す。**
"Completed"を表示し、設定の変更を完了します。

停止中と一時停止中のみ設定可能です。

❑ホットスタートポイントの設定および割り当てのしかた

再生したいファイルまたはそのポイントにホットスタートボタンを割り当てます。



1 **メイン画面上で FILE LIST を押す。**
ファイルリストを表示します。

2 **設定したいファイルを I◄◄/►►I ジョグダイヤルで選択する。または、設定したファイルの再生開始したいポイントで一時停止する。**
ジョグダイヤルを押すと選択したファイルが再生されます。

3 **LOAD を押す。**
- "Please select HOT START button"を表示します。
- キャンセルしたいときは ■ を押します。

4 **設定を割り当てたいホットスタートボタンを押す。**
- "Completed"を表示し、設定の変更を完了します。
- 設定したボタンを押すと、ホットスタート再生をします。

ホットスタート設定は停止中、一時停止中のみ設定可能です。

❑ホットスタートリストの保存のしかた

割り当てたホットスタートリストをファイルに変 換し、DN-F650R のメディアに保存します。ファイルがメディア内にある場合は自動でその中のホットスタートリストが割り当てられます。

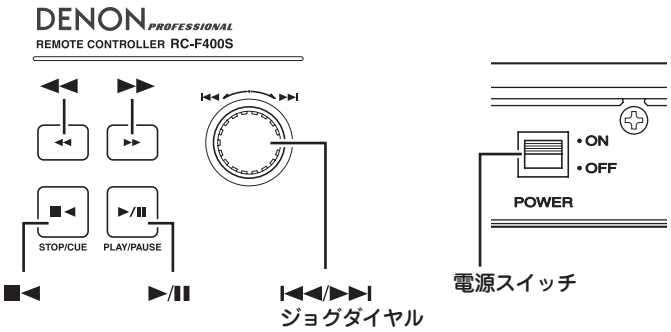
1 **メイン画面上で HOT LIST を押す。**
ホットスタートリストを表示します。

2 **STORE を押す。**
- ホットスタートリストを DN-F650R のメディアのルートディレクトリに"DN-F650R.ppl" というファイル名で記録します。
- "DN-F650R.ppl" がメディアにある場合は、自動でそのホットスタートリストを読み込み、ホットスタートボタンに割り付けます。

ご注意

ホットスタートリストを読み出した際に、リストにある音声ファイルがメディアに存在しなかった場合は、ホットスタートリストから削除されます。

メイン画面からの再生



❑再生を始める前に

DN-F650R、RC-F400S を接続したあと、各々の機器の電源スイッチをオンにする。

- RC-F400S のディスプレイにスタートアップ画面「DENON PROFESSIONAL」を表示します。
- 起動が完了すると、ディスプレイにファイル情報を表示します。

❑再生のしかた

►/II を押す。

ボタンが緑色に点灯し、ファイルの再生を開始します。

❑一時停止のしかた

再生中に ►/II を押す。

- 一時停止中は ►/II が点滅します。
- 再生を再開したいときは ►/II を押します。

❑停止のしかた

■◀ を押す。

❑ファイルを切り替える(I◀◀、►►I)

再生中や停止中にジョグダイヤルを回す。

- 時計方向に回すと次のファイルに切り替わります。
- 反時計方向に回すと現在のファイルの先頭や前のファイルに切り替わります。
- ファイルの先頭から 1 秒経過以内に反時計方向へジョグダイヤルを回した時、その前のファイルへ移動します。

❑早送りや早戻しをする(サーチ)

再生中に ►► または ◀◀ を押す。

- ►► を押すと早送り再生をします。
- ◀◀ を押すと早戻し再生をします。
- 押し続ける時間によって、動作が次のように切り替わります。
  - 0.5 秒以上　2 倍速
  - 4 秒以上　10 倍速
  - 7 秒以上　50 倍速
  - 10 秒以上　100 倍速

- 50 倍速および 100 倍速のときは音声を出力しません。
- 早送りで最後のファイルの終わりまで、早戻しで最初のファイルの先頭までサーチしたときは、一時停止になります。
- 早戻しでファイルの先頭にきたときは、前のファイルの終了位置へ移動し、早戻しを始めます。

ご注意

- 長さが短いファイルをサーチした場合、その倍率とならない場合があります。
- ファイルが VBR で記録されている場合、サーチはできません。
  サーチ途中のファイルに VBR のファイルがある場合は、VBR のファイルでサーチを終了します。

❑早送り、早戻し(サーチ)の終了

◀◀ または ►► を離す。

- 再生中にサーチした場合は、サーチ終了位置から再生します。
- 一時停止中にサーチした場合は、サーチ終了位置をくり返し再生します。
- ホットスタート再生開始から、0.2 秒間は、サーチを含むすべてのコマンドを受け付けません。

❑フレーム単位でジャンプする(フレームジャンプ)

一時停止中に ►► または ◀◀ を 0.5 秒未満押す。

- ►► を押すと順方向に 1 フレーム移動します。
- ◀◀ を押すと逆方向に 1 フレーム移動します。

❑AUTO CUE

AUTO CUE では音声レベルを自動的に検出し、キュー動作をおこないます。

- AUTO CUE 設定時は、RC-F400S 表示部の再生モード表示に A.CUE を表示します。
- 検出レベルは DN-F650R のプリセットメニュー “19 Auto Cue” の設定値になります。(☞13 ページ)
- 音声レベルの自動検出のための再生が 20 秒以上経過しても検出できない場合は、ファイルの先頭でキュー動作をおこないます。

RS-232C の制御について

RS-232C シリアル端子(D-sub9 ピン)を RS-232C ストレートケーブルに接続することによって、ホスト機器による外部からの 3 つの制御をおこなうことができます。

[3 つの制御]

① **外部からの本機の制御及び操作**(☞36 ページ)

② **外部からのステータス要求コマンドに対し、ステータス情報を出力**(☞37 ページ)

③ **本機のステータスが変わったとき、自動的にステータス情報を出力**(☞37 ページ)

❑接続について

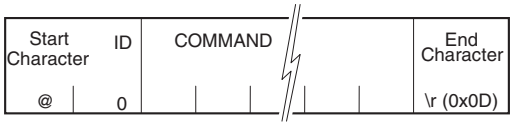
- 適合コネクタ :9 ピン D-sub(オス)
- 通信速度 :38400 Bps
- データビット :8Bit
- パリティ : なし
- ストップビット :1Bit
- フロー制御 : なし

ピン配置

ピン番号	信号名
1	Ground
6	NC
2	TxD
7	NC
3	RxD
8	NC
4	NC
9	NC
5	S. Ground

❑制御コマンドの構成

制御コマンドの各パケットは下記の様に Start Character の "@" ではじまり、End Character の "0x0D" で終わります。



❑コマンドコードの構成

項目	値 (カッコ内は Hex 値)
Start Character	'@' (0x40)
ID	'0' (0 x 30)
Command	コマンド内容を示します。
End Character	'\r' (0 x 0D)

応答のタイムアウトは 100msec です。

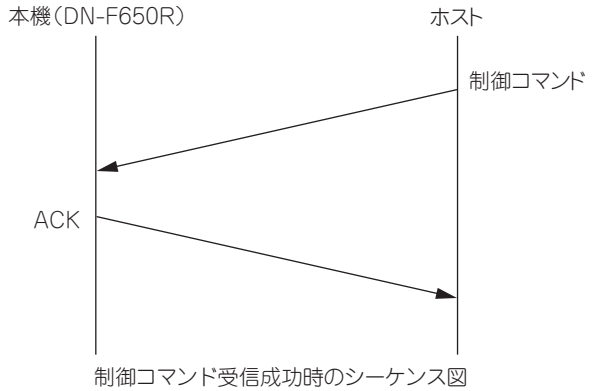
❑ACK(受信成功)と NACK(受信失敗)のコマンドコード

内容	Hex 値	送信条件
ACK	0 x 06	—
NACK	0 x 15	• Start Character' @' がないまま End Character (0x0D)がきた場合 • 存在しないコマンドを受信した場合 • コマンドのキャラクター間が 5msec 以上空いた場合

- コマンドを受信した場合は 100msec 以内に ACK もしくは NACK を返します。
- 100msec 以上待っても応答が無い場合は、次のコマンドを許可します。

① 外部からの本機の制御及び操作

本機が制御コマンドをホストから受信すると、本機はホストに ACK(受信成功)を送信し、コマンドを実行します。

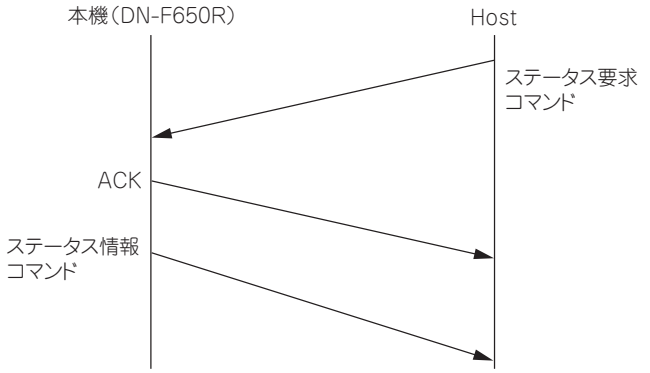


制御コマンド受信成功時のシーケンス図

また、指定のコマンド以外のデータや Start Character' @' がないまま End Character (0x0D) がきた場合などは、受信失敗となり NACK を返します。
制御コマンドのコード一覧については「制御コマンドコードのテーブル」(☞38 ページ) をご覧ください。

② 外部からのステータス要求コマンドに対しステータス情報を出力

ホストからのステータス要求された内容について、本機はACK とその回答を返します。



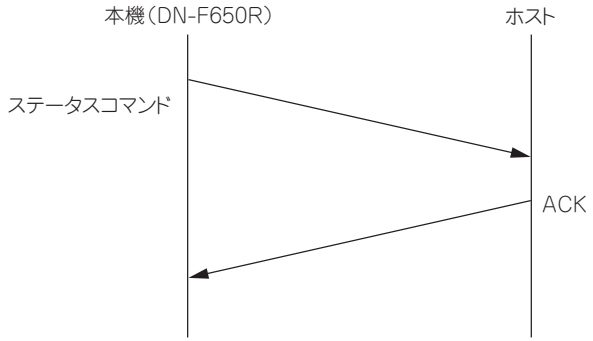
ステータス要求コマンドのシーケンス図

また、指定のコマンド以外のデータや Start Character（‘@’）が来ないまま End Character（0x0D）がきた場合などは受信失敗となり NACK を返します。

このステータス要求コマンドとステータス情報コマンドのコード一覧は「ステータス要求とステータス情報コードのテーブル」（☞43 ページ）をご覧ください。

③ 本機のステータスが変わったとき自動的にステータス情報を出力

本機のステータスもしくは録音、再生のファイルが切り替わったとき、ストレージのステータスが変化した時、状態が変わった時にその内容をホストに送信します。



ステータスコマンドのシーケンス図

このときに送信するコマンドは ② と同じステータス情報コマンドを使用しています。
コマンドコードの一覧に関しては「ステータス要求とステータス情報コードのテーブル」（☞43 ページ）をご覧ください。

次の方法で通信速度を 9600bps に設定することができます。

① **DISPLAY**と**PLAY**を押しながら電源を入れる。
- 下図のようなメニューを表示します。

② ジョグダイヤルを回して“04 Baud Rate”を選び、ジョグダイヤルを押す。
- “04 Baud Rate”が点滅します。

③ ジョグダイヤルを回して、RS-232Cコントロールの通信速度の設定値を選択し、ジョグダイヤルを押す。
- 点滅が止まり、設定を保存します。

④ **STOP/CUE**を押して、通常画面に戻る。

ご注意

- 本項目以外は選択しないでください。
- スタンバイ状態から Power On コマンド（@023PW'\r'）で起動することはできません。
- ボーレートを 9600bps に設定した場合、RS-232C コントロールからのホットスタート再生の開始が若干遅くなります。また、別売りのリモコン RC-F400S からのコントロールができなくなります。

❑制御コマンドコードのテーブル

コマンド				コード	備考
キー動作	DISPLAY （表示切り替え）			@ 02311'\r'	表示内容を切り替える
	スタンバイ （節電モード）			@ 02312'\r'	スタンバイ（節電モード）に入る。 ※スタンバイのときの電源表示（青色）は輝度を落として点灯
	電源オン			@ 023PW'\r'	
	MARK（マークの追加）			@ 023121'\r'	
	録音バランス（R）			@ 023BR'\r'	
	録音バランス（L）			@ 023BL'\r'	
	ファイル切り替え ▶▶I			@ 02332'\r'	
	ファイル切り替え I◀◀			@ 02333'\r'	
	指定ファイルに切り替え	nnn		@ 0TRnnn'\r'	nnn ； ファイル番号（3 桁） 例）ファイル番号 002 へ移動時 ： @ 0TR002'\r'
	PITCH（ピッチ調整）	ON		@ 02337ON'\r'	
		OFF		@ 02337OF'\r'	
		＋		@ 02338'\r'	
		-		@ 02339'\r'	
	PAUSE（一時停止）			@ 02348'\r'	停止時にコマンドを受信したときは録音一時停止へ遷移 再生中は再生一時停止へ、録音中は録音一時停止へ遷移
	サーチ（早戻し）	ON		@ 02350'\r'	
		OFF		@ 0235001'\r'	
	サーチ（早送り）	ON		@ 02352'\r'	
		OFF		@ 0235201'\r'	
	PLAY（再生）			@ 02353'\r'	
	STOP（停止）			@ 02354'\r'	
	REC（録音）			@ 02355'\r'	録音動作のみ（マニュアルトラックは別のコマンド）
	M.Track （マニュアルトラック）			@ 023MT'\r'	録音時、コマンドの入力位置でファイルを分割、ファイル番号を一つ増やす
	MARK ＋ （＋ 方向へマーク検索）			@ 023M+'\r'	前方のマークを選択する
	MARK - （- 方向へマーク検索）			@ 023M-'\r'	後方のマークを選択する
	ファイル分割			@ 023Dd'\r'	
	ホットスタート再生	Hot Start No nn		@ 0HPnn'\r'	nn：ホットスタートの番号（nn=01～20）
	ホットスタートキューアップ	Hot Start No nn		@ 0HCnn '\r'	nn：ホットスタートの番号（nn=01～20）

コマンド				コード	備考
キー動作	ホットスタートの 割り当て			@ 0HSnnxxx'\r'	nn：ホットスタートの番号 xxx：ファイル番号 ※通常時はファイルの先頭をホットスタート開始位置として保存する。 再生中および再生一時停止中で nnn が現在選択しているファイルと同じ場合は、現在位置をホットスタート開始位置として保存する。 ホットスタートについては「ホットスタートの割り当て」（☞48 ページ）をご覧ください。
	SKIP BACK （スキップバック）			@ 023SB'\r'	
	キーロック			@ 023KL'\r'	
	キーロック解除			@ 023KU'\r'	
	ホットスタートリストの保存			@ 0HSSR'\r'	
ファイルリスト	ファイル削除		xxx	@ 023TExxx'\r'	xxx：削除するファイル番号 ※削除するファイル番号が無ければ無効
	マーク削除		xxx	@ 023MExxx'\r'	xxx：マークを削除するファイル番号 ※マークを削除するファイル番号が無ければ無効
	ファイル移動	nnn	XXXXXXXXXXX	@ 0MVnnnXXXXXXXXXXX'\r'	nnn：移動させるファイル番号 XXXX：移動先のフォルダ名（最大 255 文字） ※移動するファイル番号が存在しない場合は無効 移動先のフォルダが存在しないときは無効 移動先に同じファイル名があった場合は無効
	ファイルのコピー	nnn	XXXXXXXXXXX	@ 0CYnnnXXXXXXXXXXX'\r'	nnn：コピーするファイル番号 XXXX：コピー先のフォルダ名（最大 255 文字） ※コピーするファイル番号が存在しない場合は無効 コピー先のフォルダが存在しないときは無効 コピー先に同じファイル名がある場合は無効
	ファイル移動、 コピーのキャンセル			@ 0CNAL'\r'	ファイルのコピーやファイルの移動中のみに有効
	ファイル名変更	nnn	XXXXXXXXXXX	@ 0RNnnnXXXXXXXXXXX'\r'	nnn：Rename をおこなうファイル番号 XXXX：新しいファイル名（. 拡張子は入れない。Max 255 文字） ※拡張子は変更できません。 存在しないファイル番号の場合は無効 Rename 名がすでに存在する場合は無効
	フォルダの選択	xxxxxxxxx		@ 0SFxxxxxxxxxx'\r'	xxxx …… ：選択するフォルダ名
	フォルダの作成	xxxxxxxxx		@ 0MFxxxxxxxxxx'\r'	xxx …… 新しいフォルダ名（Max 255 文字）
	フォルダ名変更	xxxxxxxxx	XXXXXXXXXXX	@ 0RFxxxxxxxxxx:XXXXXXXXXXX'\r'	xxxx …… 変更するフォルダ名（Max 255 文字） ':'　　セパレータ XXXX …… 新しいフォルダ名（Max 255 文字） ※変更するフォルダ名が存在しないときは無効
	フォルダ削除	xxxxxxxxx		@ 0DRxxxxxxxxxx'\r'	xxxx …… 削除するフォルダ名（Max 255 文字） ※削除するフォルダ名が存在しないときは無効

※プリセットメニューなどのコマンドの機能説明に関しては「メニュー一覧」（☞10 ページ）をご確認ください。

コマンド				コード	備考
プリセットメニュー	プリセット -1(Preset-1)			@ 0PS01'\r'	Preset-1 を選択
	プリセット -2(Preset-2)			@ 0PS02'\r'	Preset-2 を選択
	プリセット -3(Preset-3)			@ 0PS03'\r'	Preset-3 を選択
	プリセット名変更	n	xxxxxxxx	@ 0PNn:xxxxxxxx'\r'	n：プリセット番号 xxxx ……：設定するプリセット名
	ストレージ(Storage)	SD Card		@ 0MMSD'\r'	
		USB		@ 0MMUS'\r'	
	入力(Input)	UNBAL		@ 0INUB'\r'	
		BAL		@ 0INBA'\r'	
		SPDIF		@ 0INDI'\r'	
		AES/EBU		@ 0INDB'\r'	
	録音形式 (Rec Format)	PCM		@ 0AFPMXX'\r'	XX：ビット長 24Bit XX = 24 16Bit = 16
		MP3		@ 0AFM3XXX'\r'	XXX：ビットレート 320kbps = 320、64kbps = 064 etc 設定種類は Menu の選択肢と同じ
	録音チャンネル (Record Channel)	CH(チャンネル)	STEREO	@ 0CHST'\r'	
			MONO	@ 0CHMO'\r'	
	サンプリング周波数 (Sampling Frequency)	Fs (サンプリング周波数)	XX	@ 0FSXX'\r'	XX：Sample Rate 48kHz：xx=48、44.10kHz：xx = 44、96kHz：xx=96 設定種類は Menu の選択肢と同じ
	最大入力レベル(Ref Level)	xx		@ 0FrXX'\r'	XX: Reference Level +24dBu=24,+20dBu=20,+18dBu=18,0dBu=00 etc 設定種類は Menu の選択肢と同じ
	録音レベルコントロール (LevelCont)	Manual		@ 0RLMA'\r'	
		ALC		@ 0RLAL'\r'	
	レベル LED(Level LED)	Level	XX	@ 0LEXX'\r'	XX：Level（マイナスを抜いて 2 桁で表記） -6dB：XX=06、-12dB：XX=12, etc 設定種類は Menu の選択肢と同じ
	オートトラック (Auto Track)	Time	HHMM	@ 0ATHHMM'\r'	HH：時 MM：分 Off = 0000, 1min =0001,5min =0005 30min =0030,1hour =0100 設定種類は Menu の選択肢と同じ 選択肢以外の値は無効
	オートマーク (Auto Mark)	ON		@ 0AM00'\r'	
		OFF		@ 0AM01'\r'	

コマンド				コード	備考
プリセットメニュー	サイレントスキップ (Silent Skip)	ON		@ 0SS00'\r'	
		OFF		@ 0SS01'\r'	
	サイレントレベル (Silent Level)	Level	XX	@ 0SLXX'\r'	XX：Silent Skip Level -20dB xx = 20、-25dB xx = 25 etc 設定種類は Menu の選択肢と同じ
	スキップバック(時間) (Skip Back)	xxx		@ 0SBxxx'\r'	xxx：Skip Back の設定時間 0.5sec：xxx=005, 60sec：xxx=600 設定種類は Menu の選択肢と同じ
	再生モード (Play Mode)	Cont		@ 0PMOF'\r'	
		Single		@ 0PMSP'\r'	
		Random		@ 0PMRD'\r'	
	停止モード (Finish Mode)	Next		@ 0FMNT'\r'	
		Recue		@ 0FMRC'\r'	
	リピート(Repeat)	ON		@ 0RE00'\r'	
		OFF		@ 0RE01'\r'	
	パワーオンモード (Power On Mode)	PLAY		@ 0PORE '\r'	
		STOP		@ 0POST '\r'	
		REC		@ 0PORE '\r'	
		REC PAUSE		@ 0PORP '\r'	
	オートキュー(Auto Cue)	OFF		@0AC01'\r'	
		xx (dB)		@0ACxx'\r'	xx : Off = 01, -48dB = 48, -42dB = 42, -36dB = 36
	キーコントロール (Key Control)	ON		@ 0KY00'\r'	
		OFF		@ 0KY01'\r'	
	リモート 1(Remote1)	StartPause		@ 0RCSP'\r'	
		StartPauseTrack		@ 0RCST'\r'	
		Mark		@ 0RCMA'\r'	
		M.Track		@ 0RCMT'\r'	
	マシーン ID(Machine ID)	xxxxxxxxxxxx		@ 0MIxxxxxxxxxxxx'\r'	xxx　　：MachineID(0～8 文字)
	パラレルリモート (Parallel Remote)	Normal		@ 0PANO'\r'	
		Hot Start		@ 0PAHT'\r'	
		Hot Cue		@ 0PAHC '\r'	
	キーボード(Keyboard)	English(US)		@ 0KBUS'\r'	
		English(UK)		@ 0KBUK'\r'	
		Francais		@ 0KBFR'\r'	
		Deutsch		@ 0KBGE'\r'	
		Italiano		@ 0KBIT'\r'	
		Español		@ 0KBSP'\r'	
		Nederlands		@ 0KBNE'\r'	
		Svenska		@ 0KBSW'\r'	
		Japanese		@ 0KBJP'\r'	
	プリセットの初期化 (Default)			@ 0DEFL'\r'	選択しているプリセットをすべて初期化する

コマンド				コード	備考
ディスプレイ表示の設定	コントラスト(Contrast)	XX		@ 0BNXX'\r'	XX:01～10
	現在時刻表示 (Time Form)	12H		@ 0TF12'\r'	
		24H		@ 0TF24'\r'	
	日付の表示順 (Date Form)	MDY		@ 0DFMD'\r'	
		DMY		@ 0DFDM'\r'	
	ファイルの並び順 (File Sort)	Alphabet		@ 0FRAL'\r'	
		Date/Time		@ 0FRDA'\r'	
	言語(Language)	English		@ 0LNUS'\r'	
		Japanese		@ 0LNJP'\r'	
	自動電源オフ (Auto Off)	ON		@ 0Ap01'\r'	
		OFF		@ 0Ap00'\r'	
	Display メニューの初期化 (Default)			@ 0DEDI'\r'	
ユーティリティー設定	設定読込み (Load Settings)			@ 0PVLD'\r'	
	設定保存 (Save Settings)			@ 0PVSA'\r'	
	メディアの初期化 (Media Format)			@ 023FOMAT'\r'	カレントのメディアを初期化します。

❑ステータス要求とステータス情報コードのテーブル

本機がステータス要求コマンドをホストから受信すると、本機はステータス情報をホストに送信します。
本機のステータスに変化があると、本機は自動的にステータス情報をホストに送信します。

ステータス要求コマンド（ホスト→本機）			ステータス情報コマンド（本機→ホスト）			備考
要求内容		コード	応答内容		コマンドコード	
ステータス関係	メディア	@ 0?CD '\r'	メディア	No Card	@ 0CDNC'\r'	
				Card In	@ 0CDCI'\r'	
				Door Open	@ 0CDDO'\r'	
				Unformat	@ 0CDUF'\r'	
				Write Protect	@ 0CDWP'\r'	
	ステータス	@ 0?ST'\r'	停止	STOP（停止）	@ 0STST'\r'	
				STOP（現在のファイル先頭で停止）	@ 0STTS'\r'	
			再生系	PLAY（再生中）	@ 0STPL'\r'	
				PLAYPAUSE（再生一時停止）	@ 0STPP'\r'	
				AutoCue 中	@ 0STAC'\r'	Auto Cue 検索中
				サーチ（早送り）	@ 0STFF'\r'	
				サーチ（早戻し）	@ 0STRW'\r'	
				Repeat Play Pause	@ 0STRP '\r'	
			録音系	REC（録音中）	@ 0STRE'\r'	
				RECPAUSE（録音一時停止中）	@ 0STRP'\r'	
				No Signal および Fs mismatch（Digita In 録音時）	@ 0STRU'\r'	
			その他	Loading	@ 0STLD'\r'	
				File List	@ 0STFL'\r'	
				Busy	@ 0STBY'\r'	ファイルのコピー中 等
				Menu（Preset、Display、Utility etc.）	@ 0STED'\r'	
				Error	@ 0STER'\r'	
	電源のステータス	@ 0?PW'\r'	スタンバイ		@ 0PW01'\r'	
			電源オン		–	
設定関係	録音ボリューム設定	@ 0?RV'\r'	録音ボリュームレベル	LLRR	@ 0RVLLRR'\r'	LL：左 Vol 値 0dB：LL=00、Mute：LL=MU RR: 右 Vol 値 -60dB：RR=60、Mute：RR=MU
	ピッチ設定	@ 0?PT'\r'	PITCH	XXXX	@ 0PTxxXXXX'\r'	xx：ON/OFF ON：xx=ON、OFF：xx=OF XXXX：ピッチ値 +40.0%：XXXX=+400、-20.0%：XXXX=-200

ステータス要求コマンド（ホスト→本機）			ステータス情報コマンド（本機→ホスト）			備考
要求内容		コード	応答内容		コマンドコード	
設定関係	ホットスタート設定 （nn：Hot Start No）	@ 0?HsNN'\r'	ホットスタート設定	NN(Hot Start No)	@0HsNND:xxxxxx:HHHMMSSmm'\r'	NN：Hot Start No D：ドライブ（SD = 0、USB = 1） "："セパレータ xxxxx：File Name（フルパス文字数は最大 256 文字） "："セパレータ HHH：時 MM：分 SS：秒 mmm：msec ※設定されてない Hot Start No やメディアが装着されていない場合の表示は、@0HSNN'\r'
ファイルリスト関係	経過時間	@ 0?ET'\r'	経過時間	hhhmmss	@ 0EThhhmmss'\r'	hhh：時 mm：分 ss：秒 ※停止時、ファイルを選択していない場合やメディアが装着されていない場合の表示は、 hhhmmss = 0000000
	総残り時間	@ 0?RM'\r'	総残り時間	hhhmmss	@ 0RMhhhmmss'\r'	hhh：時 mm：分 ss：秒 ※停止時、ファイルを選択していない場合やメディアが装着されていない場合の表示は、 hhhmmss = 0000000
	録音残り時間	@ 0?RT'\r'	録音残り時間	hhhmmss	@ 0RThhhmmss'\r'	hhh：時 mm：分 ss：秒 ※メディアが装着されていない場合の表示は、 hhhmmss = 0000000
	総ファイル数	@ 0?TT'\r'	総ファイル数	XXX	@ 0TTXXX'\r'	XXX：総ファイル数（000～999）
	ファイル番号	@ 0?TR'\r'	ファイル番号	XXX	@ 0TRXXX'\r'	XXX：現在のファイル番号（000～999）
	ファイルネーム （xxx：ファイルナンバー）	@ 0?Tnxxx'\r'	ファイルネーム	XXXXXX	@ 0TnXXXXXX'\r'	XXXX ……：ファイルネーム（Max 255 文字、コードは ISO/IEC 8859-1） ※存在しないファイルやメディアが装着されていない場合の表示は、@ 0Tn'\r' ファイルネームはフルパスで表記する 例）\Folder1\File1.mp3 → @ 0Tn\Folder1\File1.mp3'\r'
	ファイルサイズ （xxx：ファイルナンバー）	@ 0?Tsxxx'\r'	ファイルサイズ	XXXXXX	@ 0TsXXXXXX'\r'	XXX　……：ファイルサイズ（kByte） 10KB → @0SZ10\r'（10 進） ※選択中のファイルがない場合やメディアが装着されていない場合などの表示は、XXXX =000 1KB=1024Byte

ステータス要求コマンド（ホスト→本機）			ステータス情報コマンド（本機→ホスト）			備考
要求内容		コード	応答内容		コマンドコード	
ファイルリスト関係	録音時間 （xxx：ファイルナンバー）	@ 0?rtxxx'\r'	録音時間	YYYYMMDDhhmmss	@ 0rtYYYYMMDDhhmmss'\r'	YYYY: 年（西暦の下 2 桁） MM: 月（1 月 - ＞ 01） DD: 日（1 日 - ＞ 01） hh：時（24h 表示 0～23） mm：分 ss：秒 ※選択中のファイルがない場合やメディアが装着されていない場合の表示は YYMMDDhhmmss=000000000000
	再生ファイル情報	@ 0?ch'\r'	CH（チャンネル）	STEREO	@ 0chST'\r'	
				MONO	@ 0chMO'\r'	
		@ 0?af'\r'	Algo（録音形式）	PCM	@ 0afPMXX'\r'	XX：ビット長 24Bit XX=24 16Bit =16
				MP3	@ 0afM3XXX'\r'	XXX：ビットレート 320kbps=320、64kbps=064 etc 設定種類は Menu の選択肢と同じ
		@ 0?fs'\r'	Fs （サンプリング周波数）	XX	@ 0fsXX'\r'	XX は 48kHz=48、44.10kHz=44、96kHz=96 etc
	フォルダリスト	@ 0?FL'\r'	フォルダ名	AAAAA BBBBB CCCCC	@ 0FLAAAAA:BBBBB:CCCCC'\r'	AAA…、BBB…、CCC… はフォルダ名 各フォルダ名は Max 255 文字
	選択中のフォルダ	@ 0?SF'\r'	フォルダ名	DXXXXXXXX	@ 0SFDXXXXXXXX'\r'	D：メディアの種類／SD：0／USB：1 XXXXXXXX：選択中のフォルダ名 フォルダ名は Max 255 文字
	プログラム再生	@0?PG '\r'	プログラム再生モード	OFF	@ 0PG00 '\r'	
				ON	@ 0PG01 '\r'	
プリセットメニュー	プリセット	@ 0?PS'\r'	プリセット	Preset-1	@ 0PS01'\r'	
				Preset-2	@ 0PS02'\r'	
				Preset-3	@ 0PS03'\r'	
	プリセット名	@ 0?PNn'\r'	プリセット名	xxxxxxxx	@ 0PNnxxxxxxx'\r'	n：Preset No. xxxx ……：設定する Preset 名
	ストレージ（Storage）	@ 0?MM'\r'	Storage	SD	@ 0MMSD'\r'	
				USB Drive	@ 0MMUS'\r'	
	入力（Input）	@ 0?IN'\r'	Input	UNBAL	@ 0INUB'\r'	
				BAL	@ 0INBA'\r'	
				SPDIF	@ 0INDI'\r'	
				AES/EBU	@ 0INDB'\r'	
	録音形式 （Rec Format）	@ 0?AF'\r'	Algo（録音形式）	PCM	@ 0AFPMXX'\r'	XX：ビット長 24Bit XX=24、16Bit=16
				MP3	@ 0AFM3XXX'\r'	XXX は 320kbps=320、64kbps=064 etc 設定種類は Menu の選択肢と同じ

※プリセットメニューなどのコマンドの機能説明に関しては「メニュー一覧」（☞10 ページ）をご確認ください。

ステータス要求コマンド（ホスト→本機）			ステータス情報コマンド（本機→ホスト）			備考
要求内容		コード	応答内容		コマンドコード	
プリセットメニュー	録音チャンネル（Record Channel）	@ 0?CH'\r'	CH（チャンネル）	STEREO	@ 0CHST'\r'	
				MONO	@ 0CHMO'\r'	
	サンプリング周波数（Sampling Frequency）	@ 0?FS'\r'	Fs（サンプリング周波数）	XX	@ 0FSXX'\r'	XX は 48kHz=48、44.10kHz=44、etc 設定種類は Menu の選択肢と同じ
	最大入力レベル（Ref Level）	@ 0?Fr'\r'	Reference Level（アナログ XLR 入出力の最大レベル）	XX	@ 0FrXX'\r'	XX: Reference Level +24dBu=24,+20dBu=20,+18dBu=18,0dBu=00
	録音レベルコントロール（LevelCont）	@ 0?RL'\r'	Rec level	Manual	@ 0RLMA'\r'	
				ALC	@ 0RLAL'\r'	
	レベルLED（Level LED）	@ 0?LE'\r'	Level	XX	@ 0LEXX'\r'	
	オートトラック（Auto Track）	@ 0?AT'\r'	A.Track Time（オートトラックの設定時間）	HHMM	@ 0ATHHMM'\r'	HH：時 MM：分 Off=0000, 1min =0001,5min =0005 30min =0030,1hour =0100 設定種類は Menu の選択肢と同じ
	オートマーク（Auto Mark）	@ 0?AM'\r'	AutoMark	ON	@ 0AM00'\r'	
				OFF	@ 0AM01'\r'	
	サイレントスキップ（Silent Skip）	@ 0?SS'\r'	Silent Skip	ON	@ 0SS00'\r'	
				OFF	@ 0SS01'\r'	
	サイレントレベル（Silent Level）	@ 0?SL'\r'	Level	XX	@ 0SLXX'\r'	XX:Silent Level Off = 01, -48dB = 48, -42dB = 42, -36dB = 36
	スキップバック（時間）（Skip Back）	@ 0?SB'\r'	Skip Back	XXX(time)	@ 0SBXXX'\r'	xxx：Skip Back の設定時間 0.5sec：xxx=005, 60sec：xxx=600 設定種類はプリセットメニューと同様
	再生モード（Play Mode）	@ 0?PM'\r'	Play mode	Cont	@ 0PMOF'\r'	
				Single	@ 0PMSP'\r'	
				RANDOM	@ 0PMRD'\r'	
	停止モード（Finish Mode）	@ 0?FM'\r'	Finish Mode	Next	@ 0FMNT'\r'	
				Recue	@ 0FMRC'\r'	
	リピート（Repeat）	@ 0?RE'\r'	Repeat Mode	ON	@ 0RE00'\r'	
				OFF	@ 0RE01'\r'	
	パワーオンモード（Power On Mode）	@ 0?PO'\r'	PowerOn Mode	PLAY	@ 0PORE '\r'	
				STOP	@ 0POST '\r'	
				REC	@ 0PORE '\r'	
				REC PAUSE	@ 0PORP '\r'	
	オートキュー（Auto Cue）	@ 0?AC'\r'	Auto Cue	OFF	@ 0AC01'\r'	
				XX(dB)	@ 0ACxx'\r'	xx : Auto Cue Level 例) -48dB: xx=48

ステータス要求コマンド（ホスト→本機）			ステータス情報コマンド（本機→ホスト）			備考
要求内容		コード	応答内容		コマンドコード	
プリセットメニュー	キーコントロール（Key Control）	@ 0?KY'\r'	Key Control	ON	@ 0KY00'\r'	
				OFF	@ 0KY01'\r'	
	リモート 1（Remote1）	@ 0?RC'\r'	Remote1	Mark	@ 0RCMA'\r'	
				M.Track	@ 0RCMT'\r'	
				StartPause	@ 0RCSP'\r'	
				StartPauseTrack	@ 0RCST'\r'	
	マシーン ID（Machine ID）	@ 0?MI'\r'	Machine ID	xxxxxx	@ 0MIxxxxxx'\r'	xxx ……：MachineID（0～8 文字）
	パラレルリモート（Parallel Remote）	@ 0?PA'\r'	Parallel Port	Normal	@ 0PANO'\r'	
				Hot Start	@ 0PAHT'\r'	
				Hot Cue	@ 0PAHC '\r'	
	キーボード（Keyboard）	@ 0?KB'\r'	Keyboard	English（US）	@ 0KBUS'\r'	
				English（UK）	@ 0KBUK'\r'	
				Francais	@ 0KBFR'\r'	
				Deutsch	@ 0KBGE'\r'	
				Italiano	@ 0KBIT'\r'	
				Español	@ 0KBSP'\r'	
				Nederlands	@ 0KBNE'\r'	
				Svenska	@ 0KBSW'\r'	
				Japanese	@ 0KBJP'\r'	
ディスプレイ表示の設定	コントラスト（Contrast）	@ 0?BN'\r'	Contrast	XX	@ 0BNXX'\r'	XX: 01～10（コントラスト） 01～10 以外は無効
	現在時刻表示（Time Form）	@ 0?TF'\r'	Time Form	12H	@ 0TF12'\r'	
				24H	@ 0TF24'\r'	
	日付の表示順（Date Form）	@ 0?DF'\r'	DateForm	MDY	@ 0DFMD'\r'	
				DMY	@ 0DFDM'\r'	
	ファイルの並び順（File Sort）	@ 0?FR'\r'	File Older	Alphabet	@ 0FRAL'\r'	
				Date/Time	@ 0FRDA'\r'	
	言語（Language）	@ 0?LN'\r'	Language	English	@ 0LNUS'\r'	
				Japanese	@ 0LNJP'\r'	
	自動電源オフ（Auto Off）	@ 0?Ap'\r'	Auto Power Off	Enable	@ 0Ap01'\r'	
				Disable	@ 0Ap00'\r'	
その他	バージョン（Version）	@ 0?VN'\r'	Version	xxxxxxxx	@ 0VNxxxxxxxxmmmmmmmmm'\r'	xxxxxxxx：Version No（8 桁） mmmmmm：モデル名 （DN-F650R の場合：DNF650R）

パラレルコントロール

パラレルコントロールには、通常モードとホットスタートモードの二つのモードがあります。
このモードの切り替えはプリセットメニューでおこなえます。

❑接続について

• ノーマルモード（録音モード）

ピン番号	信号名	I/O
1	GND	-
2	再生	I
3	再生一時停止	I
4	停止	I
5	ファイル切り替え ▶▶I	I
6	ファイル切り替え I◀◀	I
7	サーチ ▶▶	I
8	サーチ ◀◀	I
9	ピッチボタン（ON/OFF）	I
10	Command Common	-
11	スキップバック	I
12	マーク検索 +	I
13	マーク検索 -	I
14	PLAY Tally	O
15	PLAY PAUSE Tally	O
16	STOP Tally	O
17	マークの追加	I
18	録音一時停止	I
19	録音	I
20	REC PAUSE Tally	O
21	REC Tally	O
22	Tally Power Supply	-
23	Command Common	-
24	ピッチコントロールボタン +	I
25	ピッチコントロールボタン -	I

• ホットスタートモード（再生モード）
• ホットキューモード（スタンバイモード）

ピン番号	信号名	I/O
1	GND	-
2	再生	I
3	再生一時停止	I
4	停止	I
5	ファイル切り替え ▶▶I	I
6	ファイル切り替え I◀◀	I
7	RELOAD（リロード）	I
8	ホットスタート 1	I
9	ホットスタート 2	I
10	Command Common	-
11	ホットスタート 3	I
12	ホットスタート 4	I
13	ホットスタート 5	I
14	PLAY Tally	O
15	PLAY PAUSE Tally	O
16	STOP Tally	O
17	ホットスタート 6	I
18	ホットスタート 7	I
19	ホットスタート 8	I
20	REC PAUSE Tally	O
21	REC Tally	O
22	Tally Power Supply	-
23	Command Common	-
24	ホットスタート 9	I
25	ホットスタート 10	I

※ホットキューモードの場合は、ホットスタート入力でスタンバイとなります。

ホットスタートとは、あらかじめ設定したポイントから瞬時に再生を開始する機能です。
本機では、ホットスタートのポイントを 10 箇所まで割り当てることができます。

❑ホットスタートの割り当て

1 プリセットメニューの“21 ParaRem”で“HotStart”を選ぶ。

• 設定のしかたは「21 ParaRem」(13 ページ) をご覧ください。

2 ホットスタートポイントを割り当てたい再生位置で、再生一時停止または停止する。

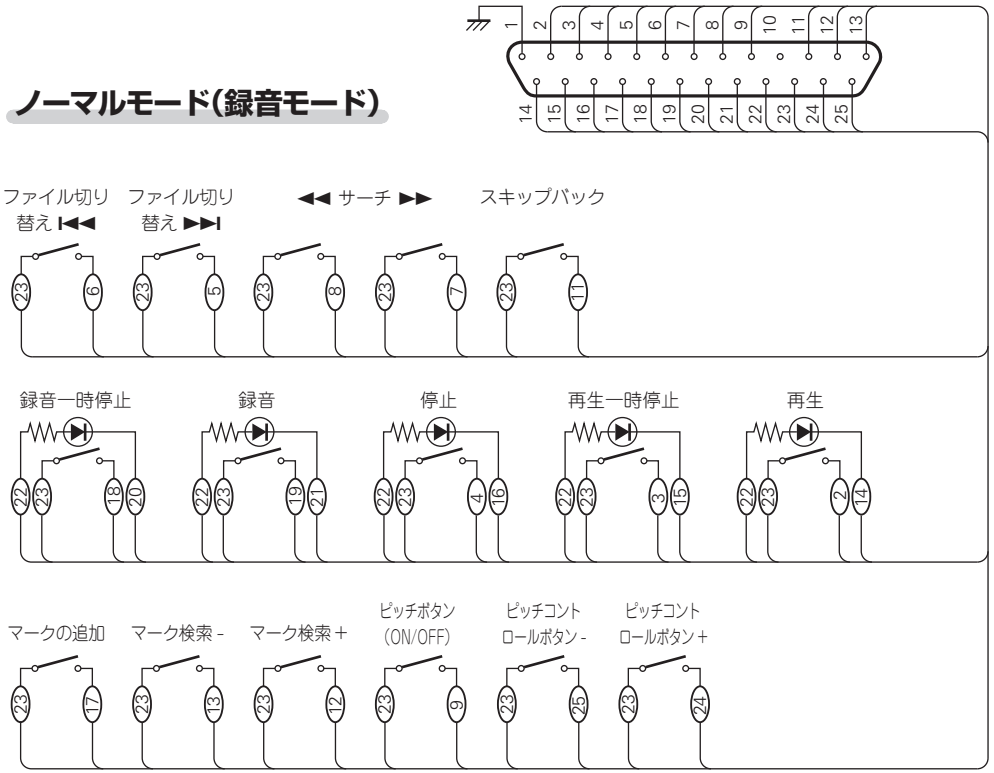
3 RELOAD（7 ピン）を押しながら、ホットスタート番号（1 ～ 10）のいずれかを押す。

• 現在の再生位置を、そのホットスタート番号に割り当てます。
• 以後、そのホットスタート番号を押すとホットスタートをおこなうことができます。
• ホットスタートポイントは何回でも上書きできます。

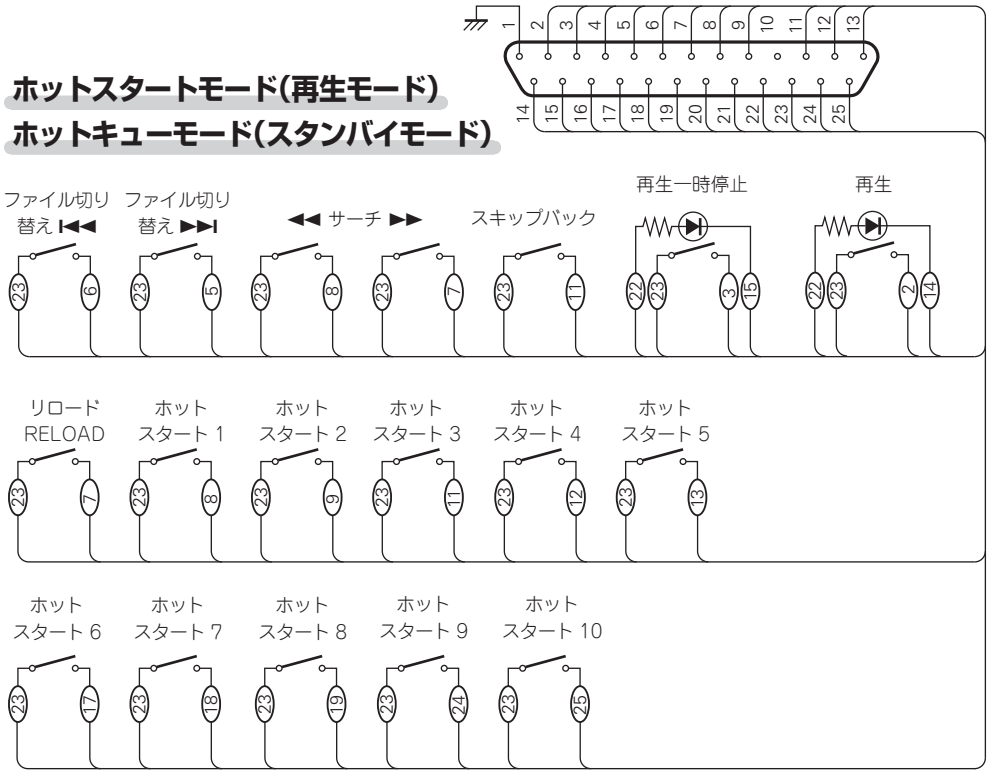
❑リモートコントローラーの接続

•接続例

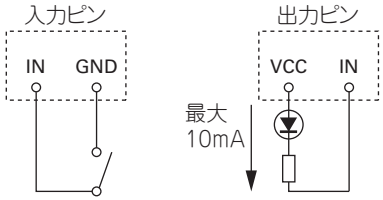
ノーマルモード(録音モード)



ホットスタートモード(再生モード)
ホットキューモード(スタンバイモード)



入力ピンと Tally 出力ピンは下記のように構成されています



- Tally 出力ピンはオープンコレクタになっています。(最大電流 :10mA、最大電圧 :5.5V)
- 入力ピンは LVTTL 仕様で Vcc は 3.3V です。
- Tally Power Supply(22 ピン)が供給できる電流は最大 100mA です。
- 入出力の論理はアクティブ・ロー(負論理)になります。

ご注意

この端子のピン No.22(Tally Power Supply) から、外部のリモートコントローラに電源を供給しますが、このピンの最大定格は +5VDC 100mA となっていますので、定格を超えることのない様に回路および電流制限(抵抗値)を選択してご使用ください。定格内で使用しないと製品の故障の原因となるほか、火災や思わぬ事故を引き起こす原因になることがあります。

情報

エラーメッセージ

エラー処理の詳細

エラー表示	原　因 / 対　策	関連ページ
Door Open	• SD カードドアが開いた状態になっています。SD カードドアを閉じてください。またはジョグダイヤルを押して表示を消してください。	8
No Media	• メディアが検出できていません。メディアを入れ直してください。	8,9
Unformat	• ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されています。メディアを本機でフォーマットするか、フォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。詳しくは、メディアの取扱説明書をご覧ください。	15
Full Media	• メディアの残容量がありません。新しいメディアと交換、もしくは不要なファイルを消去してください	5,25
Full 999	• ファイル数が最大(999 ファイル)になっていますので、録音ファイルを格納するフォルダを変更するか、もしくは不要なファイルを消去してください	25,26
Full MARK	• マーク数が最大(30 個)になっていますので、新たにマークを追加できません。追加する場合は一度マークを削除してください。	25
Full Folder	• フォルダ数が最大(32 個)まで作成されていますので、新しいフォルダは作成できません。フォルダを作成するには他のフォルダを削除してください。	26
No Files	• 対象ファイルが存在しません。ファイルの確認をしてください	24
No MARK	• 対象マークが存在しません。マーク検索をおこなう場合は、マークを追加してください	17
No Signal	• SPDIF または AES/EBU での録音で外部機器からの信号が検出されていません。外部機器から出力がされているか、接続が正しいかを確認してください。	7
Fs Mismatch	• SPDIF または AES/EBU での録音で本機の Fs(サンプリング周波数)と外部機器の Fs が異なっています。プリセットメニューで外部機器との Fs を合わせてください。	11
ALC	• プリセットメニュー “07 LevelCont” で “ALC” が設定されているときに表示されます。この場合、録音レベル、録音バランスの調整はできません。調整をおこなうときは設定を “Manual” にしてください。	16
VBR	• VBR ファイルサーチしたときに表示されます。VBR ファイルではサーチができません。また、ファイルの残り時間も表示されません。	20
Already Exists	• 他に同じファイル名がすでに存在しています。ファイル名を変更してから確定を押してください。	24
Long Title	• ファイル名の文字数が 253 文字以上のファイルの分割はできません。ファイルの名前を付け直してから分割してください。	21
Key Locked	• キーロック中です。操作をおこなう場合はロックを解除してください。	27
Card Locked	• SD カードのプロテクトスイッチがロックされています。録音をする場合はロックを外してください。	8
UsedByHotStart	• ホットスタートに割り当てているファイルを削除しようとしています。ファイルを削除する場合は別のファイルをホットスタートに登録し直すなどして、ホットスタートの割り当てを解除してください	48
Can not...	• 無効な操作を行った場合に表示されます。プリセットメニューなど他の設定項目によって操作が無効となることがありますので操作内容を確認してください。	26
Err Format	• メディアを本機でフォーマットするか、フォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。詳しくは、メディアの取扱説明書をご覧ください。	15
Err Media X	• 本機に対応していません。メディアを交換してください	–
Update File Error	• バージョンアップ用ファイルまたはファイルステムが異常があります。当社ホームページ(URL:http://www.dm-pro.jp)に記載しているお近くの修理相談窓口へお問い合わせください	53
Err FlashROM	• Flash ROM にエラーが発生しています。当社ホームページ(URL:http://www.dm-pro.jp)に記載しているお近くの修理相談窓口へお問い合わせください	53
Need Update	• アップデート時に Flash ROM からの読み込みが失敗しています。当社ホームページ(URL:http://www.dm-pro.jp) に記載しているお近くの修理相談窓口へお問い合わせください	53

RC-F400S のエラーメッセージ

エラー表示	原　因 / 対　策	関連ページ
Not Connected	• 正しく DN-F650R と接続されているか確認をしてください。その後も表示される場合は、ケーブルを交換してください。	32
Not Supported	• RC-F400S に対応していない機器が接続されています。接続先を確認してください。	–
No Media	• DN-F650R に装着されているメディアが検出できていません。メディアを入れ直してください。	8,9
Error xxxxx	• 当社ホームページ(URL:http://www.dm-pro.jp) に記載しているお近くの修理相談窓口へお問い合わせください。	53

故障かな？と思ったら

❑ 各接続は正しいですか

❑ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

❑ 外部機器(ミキサーやプレーヤー)は正しく動作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【 共通 】

症　状	原　因 / 対　策	関連ページ
電源が入らない	• AC 電源コードの接続状態を確認してください。	8

【 録音 】

症　状	原　因 / 対　策	関連ページ
録音ができない	• メディアの問題が考えられます。別のメディアに交換をしてみてください。	16
録音はされているのに、再生すると音が出ない。	• 録音レベル調整つまみ(REC LEVEL)が MIN になっていないか確認をしてください。 • 録音設定(入力ソース、メディアの選択など)と外部機器との接続が正しいかを確認してください。 (例えば、入力ソースが Unbalance に選択されていて、ANALOG IN の RCA 端子に外部機器が接続されていないと、本機は無音状態で録音されてしまいます。)	16 7
ファイルの切り替わり目に音切れがする	• 録音したファイルの容量によっては、ファイルの切り替わり目にわずかな音切れが生じる場合があります。	12,17
SD カードへの録音時に音切れがする	• パソコンで SD カードをフォーマットした場合、録音時に音切れが生じる場合があります。本機で使用するときは必ず本機でフォーマットをおこなってください。	15
録音ファイルのノイズが大きい	• レベルメーターやオーバーレベル表示を見て、録音レベルが 0dB を超えていないか確認してください。 • ケーブル接続が接触不良となっていないか確認してください。	7,16
カスケード録音ができない	• USB ドライブを装着していない場合や、USB ドライブの残り容量がない場合は、カスケード録音をおこないません。 • USB ドライブへの録音中はカスケード録音をおこないません。	17 17

【 再生 】

症　状	原　因 / 対　策	関連ページ
再生ができない、ファイルを認識しない	• メディアの問題が考えられます。別のメディアにファイルを移し変えてみてください。 • 再生ファイルの形式が本機に対応しているか確認をしてください。 • 対象フォルダがメディアのルートディレクトリの真下にあるかを確認してください。真下以外の場所にあるフォルダは認識しません。 • フォルダ数が 32 個を超えていないか確認をしてください。本機では 32 番目以降のフォルダは認識出来ません。	- - 25 25
ヘッドホンから再生音が出ない。	• LEVEL(音量調整)つまみの設定位置が MIN になっていないかを確認してください。 • 別のオーディオファイルまたはメディアで確認してください。	8 -
パソコンで再生すると音が悪い。	• パソコンのサウンドカードの品質とプログラムを確認してください。 • 周波数変換プログラムを確認してください。 ※本機ではサンプリング周波数 48kHz、96kHz でオーディオファイルを録音できます。パソコンのプログラムによってはオーディオファイルを 44.1kHz に変換するものがあります(サンプルレートコンバータを使用)。高品質なサンプルレートコンバータを使用してください。	- -
パソコンでファイルを読み取れない。	• パソコンのプログラムの機能を確認してください。再生および編集プログラムによっては本機の録音形式(PCM 24 ビット 96kHz など)に対応していないものもあります。 本機の動作が不安定なときは、電源を切り、電源コードの接続を外し、再起動をしてください。	-

【 メディア 】

症　状	原　因 / 対　策	関連ページ
メディアを接続しているのにディスプレイにメディア(USB or SD)のアイコンが表示されない。	• 接続不良などで、本機がメディアを認識できない場合があります。接続を確認してください。 • 本機は、マスストレージクラス対応の USB フラッシュメモリー、USB 外付けメディアに対応しています。それ以外の USB ドライブは認識できません。 • 本機は、USB ハブを経由した接続はできません。 • AC アダプター等の外部電源を接続できるタイプの USB ハードディスクは必ず外部から電源を供給させてください。	8,9 9 9 -
アイコンは表示されているのに、ファイルが認識されない。	• 画面表示を確認し、現在選択されているメディアと操作したいメディアが同じであるか確認してください。違う場合はメディアリストメニューで操作したいメディアに設定し直してください。	27
USB ドライブのフォーマットができない。	• SD カードが本機に装着されていないか確認をしてください。SD カードが本機に装着されているときは SD カードを優先的にフォーマットします。	15

【 操作 】

症　状	原　因 / 対　策	関連ページ
Rename 時に文字を追加できない	• 文字数が最大となっているときは文字を追加できません。追加する場合はあらかじめ文字を削除してください。	13
フォルダの削除ができない	• メディア内のフォルダが一つしかないときはそのフォルダを削除することは出来ません。	26

主な仕様

❑ デジタルオーディオシステム

• システム	ソリッドステート / USB レコーダー
• 利用可能メディア	SD/SDHCカード、USB フラッシュメモリー、外付け USB メディア
• 録音形式	
MP3	MPEG1 Layer Ⅲ 圧縮
WAV	16/24 ビットリニア PCM
• 録音 MP3 ビットレート(選択可能)	
モノラル	160、128、96、64、32kbps
ステレオ	320、256、192、128、64kbps
• 再生可能 MP3 ビットレート	
モノラル	160、128、96、64、32kbps
ステレオ	320、256、192、128、64kbps および VBR
サンプリング周波数	96 kHz(PCM 録音のみ)、48、44.1kHz
• チャンネル数	2(ステレオ)、1(モノラル)
• オーディオ周波数特性	20～40000Hz ± 1.0dB (Fs=96kHz)
• S/N 比、IEC-A フィルター	96dB(0dBFS 1kHz 再生時)
• 全高調波歪率(0VU(PCM)時)	0.01% (AES-17 20kHz フィルター)
• ダイナミックレンジ	96dB
• ピッチ可変幅	-40%～+20%

❑ 入力

• BALANCED ANALOG IN L/R	
タイプ	XLR(1:GND、2:Hot、3:Cold)
入力感度	+24dBu, +20dBu, +18dBu,
(録音レベル 0 dB(最大)時)	0dBu(0dBFS 基準)
入力インピーダンス	24kΩ
• UNBALANCED ANALOG IN L/R	
タイプ	RCA 端子
入力感度	500mVrms
入力インピーダンス	22kΩ
• UNBALANCED DIGITAL IN	
タイプ	RCA 端子
入力インピーダンス	75Ω
標準入力レベル	0.5Vp-p
フォーマット	IEC-60958(SPDIF)
• BALANCED DIGITAL IN	
タイプ	XLR(1:GND、2:Hot、3:Cold)
入力インピーダンス	110Ω
標準入力レベル	3.5Vp-p
フォーマット	IEC-60958(AES/EBU)

❑ 出力

• BALANCED ANALOG OUT L/R	
タイプ	XLR(1:GND、2:Hot、3:Cold)
最大レベル	24dBu/600Ω 負荷時 (0dBFS 基準)
• UNBALANCED ANALOG OUT L/R	
タイプ	RCA 端子
標準レベル	2Vrms/10kΩ 負荷時
• BALANCED DIGITAL OUT	
タイプ	XLR(1:GND、2:Hot、3:Cold)
出力インピーダンス	110Ω
標準出力レベル	3.5Vp-p
フォーマット	IEC-60958(AES/EBU)
• UNBALANCED DIGITAL OUT	
タイプ	RCA 端子
出力インピーダンス	75Ω
標準出力レベル	0.5Vp-p
フォーマット	IEC-60958(SPDIF)
• HEADPHONE OUT	20mW/32Ω

❑ その他

• 最大ストレージ容量	原理上 2TB まで制限なし
• 最大ファイルサイズ	4GB
• 最大ファイル数	999 ファイル /1 フォルダあたり
• 最大フォルダ数	32 フォルダ
• 最大レイヤー(階層数)	1(ルートディレクトリ直下)
• 最大マーク数	30 個 /1 ファイルあたり
• ファイル名の最大文字数	255 文字
• フォルダ名の最大文字数	255 文字
• プリセット名の最大文字数	8 文字
• マシン ID の最大文字数	8 文字

❑ 一般

• 電源	AC100V 50/60Hz
• 消費電力	22W
	0.4W(スタンバイ時)
• 環境条件	
動作温度	5～35℃
動作湿度	25～85%、結露なし
保存温度	-20～60℃

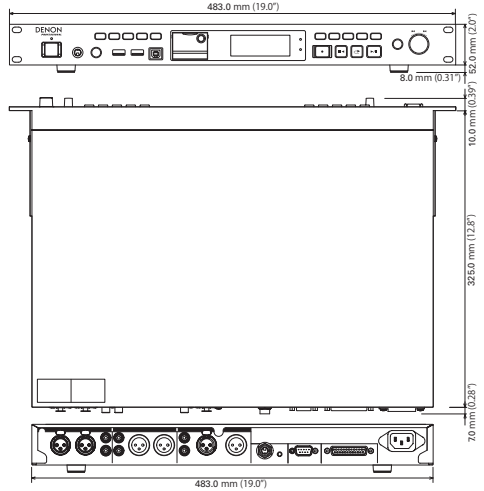
❑ 寸法（外形寸法は突起部を含む）

幅	483mm/19.0"
高さ	52mm/2.0"
奥行	342mm/13.5"
重量	3.7kg

❑ 付属アクセサリー

• 電源コード	1
• 電源プラグ変換アダプター (3 ピン→ 2 ピン)	1
• USB ケーブル	1
• オーディオケーブル	1
• SD カードドア用セキュリティねじ	2
• プラスチックピンとリテーナー	1
• 取扱説明書	1
• CD-ROM(DMP Mark Editor)	1
• 保証書	1

【外観寸法図 単位：mm】



※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

保証と修理について

❑保証書

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から１年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
有料修理の料金については当社ホームページ（URL:http://www.dm-pro.jp）に記載しているお近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

❑修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 当社ホームページ（URL:http://www.dm-pro.jp）に記載しているお近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

❑依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書または製品背面（または底面や側面）に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

❑補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後８年です。

❑お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

索引

☞英数
RS-232C コントロール …… 36
SD カード …… 8
USB キーボード …… 29
USB ドライブ …… 9
USB ポート …… 7
USB モード …… 23

☞い
インジケータ …… 28

☞か
カスケード録音 …… 17

☞き
キーロック …… 27
キュー動作 …… 13

☞け
ケーブル
USB ケーブル …… 7
ステレオ音声ケーブル …… 7
同軸デジタルケーブル …… 7
バランスケーブル …… 7
言語タイプ …… 13

☞さ
サーチ …… 20
再生 …… 19
サイレントスキップモード …… 12
サンプリング周波数 …… 11

☞す
スキップバック …… 20
ストレージリスト …… 27

☞せ
セキュリティネジ …… 9
接続
RC-F400S …… 32
RS-232C 端子 …… 8
アナログ接続 …… 7
デジタル接続 …… 7
電源コード …… 8
パソコンとの接続 …… 7
パラレルポート …… 8
リモート端子 …… 8

☞ち
著作権 …… III

☞て
ディスプレイ …… 5
電源入 / 切（スタンバイ） …… 11

☞に
入力ソース …… 11

☞は
パラレルコントロール …… 48

☞ひ
ピークホールド …… 6
ピッチコントロール …… 21
ビットレート …… 18

☞ふ
ファームウェアバージョン …… 15
ファイルの切り替え …… 20
ファイルの分割 …… 21
ファイルメニュー …… 24
ファイルリスト …… 24
フォーマット …… 15
フォルダメニュー …… 25
フォルダリスト …… 25
付属品 …… 2
プリセットメニュー …… 10
フロントパネル …… 3

☞へ
ヘッドホン …… 8

☞ほ
ホットスタート
RC-F400S …… 33
パラレルコントロール …… 48

☞ま
マーク …… 17
マークの検索 …… 21
マシン ID …… 13
マニュアルトラック …… 17

☞め
メディア …… 8
メニュー一覧 …… 10

☞ら
ラックマウント …… 2
ランダム再生 …… 12

☞り
リアパネル …… 4
リテーナー …… 9
リピート再生 …… 12

☞れ
レベルメーター …… 6

☞ろ
録音時間チャート …… 18

ライセンス

ここでは、DN-F650R／RC-F400Sに使われているソフトウェアの利用許諾（ライセンス）について記載しています。
正確な内容を保有するため、原文（英語）を記載しています。

Copyright (c) 1990-2003
Wada Laboratory, the University of Tokyo. All rights reserved.
Copyright (c) 2003-2004
Electronic Font Open Laboratory (/efont/). All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the Wada Laboratory, the University of Tokyo nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY WADA LABORATORY, THE UNIVERSITY OF TOKYO AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE LABORATORY OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

株式会社 ディーアンドエムホールディングス